

「第2期いきいき市民健康プラン後期計画」

令和元年度 事業実施報告

1. 仙台市の取り組み事業一覧 P. 1
2. 仙台市保健所支所の取り組み P. 29
3. 関係団体の取り組み P. 34

1. 仙台市の取り組み事業一覧

第2期いきいき市民健康プラン後期計画推進にかかる事業一覧（令和元年度 事業実施報告）

【重点分野1】未来の健康をつくる生活習慣病予防

【1】学齢期からの生活習慣病予防，健康的な生活習慣を形成するための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 学校との連携を図り，生活習慣病を予防するための望ましい生活に関する啓発を行う	①学校保健委員会への参加	健康課題の共有や，健康教育メニューの紹介。	・小学校4校，中学校2校へ参加		各区	家庭健康課 保健福祉課
	②児童・生徒とその保護者を対象に健康教育	児童・生徒の健康課題や，壮年期の健康課題に応じた内容の，健康教育を学校と連携して実施する。	・12/6 大倉小学校 児童10人，保護者8人，教職員11人参加 授業参観の際に生活習慣病予防についての講座を実施 ・小学校2校（幸町南，鶴谷東）の就学時健診の子育て講座にて保護者向け健康教育を実施 保護者 計77人参加		青葉区 宮城野区	宮総保健福祉課 家庭健康課
	③学校保健関係者との懇談会	地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有，健康教育メニューの紹介。	・区内7校の小学校（岩切，福室，鶴ヶ谷東，燕沢，中野栄，栴江，幸町南）を訪問し，健康課題の共有及び健康教育メニューの紹介を実施 ・学校保健懇談会1回参加	○ ○	宮城野区 若林区	家庭健康課 家庭健康課
	④秋保中学校区生活習慣改善部会への参加	管内幼稚園・小中学校の養護教諭等の会議へ参加し，管内の健康課題について共有し，今後の事業展開に活かす。	・3月参加 （あきう幼稚園，秋保小学校，湯元小学校，馬場小学校，秋保中学校）		太白区	秋総保健福祉課
	⑤健康教育媒体等の貸出	学校・幼稚園・保育所等へ，健康教育媒体（糖分媒体，歯科模型等）の貸出を行い，取り組みを支援する。	・糖分媒体を2施設へ貸出		太白区	秋総保健福祉課
(2) 教職員への研修の実施等，学校における取り組みを推進する	①教職員・市民向けの研修	運動習慣・生活習慣・食習慣をテーマに仙台っ子健康セミナー（健康教育研修会）の開催。	・「運動習慣」「生活習慣」「食習慣」の3分野の取組を総合的に推進するために健康教育研修会を2日（3コマ）開催 延べ227人参加 ・市政だよりでの啓発		教育局	健康教育課
	②教職員向け保健指導資料の作成と活用推進	教職員向けに，保健指導資料を作成し，ホームページ・グループウェアに掲載	・教職員向けに，保健指導資料を作成し，ホームページ・グループウェアに掲載		教育局	健康教育課
(3) スポーツイベントを積極的に周知し，子どもの参加や体験につなげる	①情報の発信	運動情報に特化したホームページ「仙台スポーツ情報ナビ」や新聞折込情報誌を活用したスポーツ情報の提供。	【ホームページ】ハーフマラソンやスポーツイベントなどの情報を掲載 HP訪問数：494,309件（令和2年4月7日現在） 【新聞折込情報誌】河北ウィークリーに各スポーツ施設の情報を掲載 月1回×8ヶ月（5・6・7・9・11・12・1・3月） 月2回×4ヶ月（4・8・10・2月）		文化観光局	スポーツ振興課
(4) 肥満度の高い児童を対象に保健指導を実施する	①生活習慣病予防検査の事後措置	生活習慣病予防検査の結果について，学校医より指導助言をいただき，保護者へ連絡する。その際に，肥満についての資料を結果とともに配付する。	・生活習慣病予防検査の結果について，学校医より指導助言をいただき，保護者へ連絡。その際に，肥満についての資料を結果とともに配付		教育局	健康教育課
(5) 学齢期のその他の生活習慣病発症予防	①生活習慣病予防検査	小学校1・3・5年生，中学校1年生，高等学校1年生を対象に実施。	・小学校1・3・5年生，中学校1年生，高等学校1年生を対象に実施		教育局	健康教育課
	②市民センターや児童館と連携した健康教育	今後自立していく子どもたちと，見守る保護者を対象とし，健康的な生活習慣について家族で考える機会の提供や，健康づくりについての正しい知識の普及。	・てらまちフェスタへのブース出店1回 未就学児と小学生，子育て支援者を中心に，64人参加 甘味飲料内の砂糖の量をテーマにクイズを実施 ・児童館5か所（富沢，中田，鹿野，入来田マイスクール，東長町）計307人へ健康教育を実施し，保護者向けパンフレットを配布		青葉区 太白区	家庭健康課 家庭健康課
		学齢期の児童が，生活習慣病を予防するための望ましい生活習慣に関して周知啓発する。	・岩切児童館で児童18人に，健康教育「テーマ：からだはかせにろう（食育・歯科）」を実施		宮城野区	家庭健康課
	③重点分野を横断した次世代の健康づくりの推進	子どもに正しい生活習慣がつくことを目的に児童館と連携し「健康的な食生活，歯と口の健康，防煙」の総合的な健康教育を行う。家庭でも話題にすることで，子育て世代への波及も図る。	・児童館5か所（富沢，中田，鹿野，入来田マイスクール，東長町）計307人へ健康教育を実施し，保護者向けパンフレットを配布 ・事業内容について，児童館便りへの掲載等を児童館に依頼 ・児童が学んだことの定着が図られるよう児童館と連携		太白区	家庭健康課
	大学の新生を対象に「健康的な食生活，歯と口の健康，防煙，心の健康」についての総合的な健康教育を行う。	・東北工業大学電気電子工学科1年生115人 ・東北工業大学工学部情報通信工学科1年生125人 2回，計240人へ実施。		太白区	家庭健康課	

	④若い世代の健康づくり	区内専門学校26校を対象に、健康づくりをテーマとしたニュースレターの発行を行う。また、専門学校の担当教員より課題や現状を聞き取りし、必要時健康教育や啓発資料の配布を実施する。	・区内専門学校26校にニュースレターを送付（年2回/6月・2月）		青葉区	家庭健康課
		区内専門学校生を対象に子宮がん検診・20歳のデンタルケア検診・食育推進・心の健康づくり等に関する啓発を行う。	・専門学校6校に対し啓発媒体配布（検診啓発・食育推進・受動喫煙防止）1,310部 ・専門学校3校に対し啓発媒体配布 心の健康づくり媒体 820部	○	宮城野区	家庭健康課
	⑤市民センターや児童館と健康課題に関する共有	地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有、健康教育メニューの紹介。	【区中央市民センターとの連携】 ・区中央市民センター主催の「社会教育推進連絡会」に保健師・管理栄養士が出席し、区の健康課題と学齢期健康づくり事業について周知 ・区中央市民センター社会教育主事との連携を図り、学校保健等へのアプローチについて相談及び事業の進捗について共有 【児童館との連携】 ・区内9か所の児童館（岩切、新田、榴岡、燕沢、鶴谷東、鶴巻、西山、原町、福室）を訪問し、健康課題の共有及び健康教育メニューの紹介を実施	○	宮城野区	家庭健康課

【2】 壮年期の生活習慣病発症予防、重症化予防の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 健診受診率向上を図る取り組みを行う	①特定健診の受診勧奨	国保加入者に対し、リーフレット、ハガキ送付及び電話等により受診勧奨を行う。	・40歳の国保加入者へのリーフレット送付 1,954人 ・平成20年度以降未受診等の国保加入者へのハガキ送付 65,706人 ・電話勧奨 19,581人		健康福祉局	保険年金課
	②健診体制の整備	国民健康保険加入者に対する特定健康診査、基礎健康診査と各種がん検診、各種節目検診、訪問健康診査、ホームレス結核健診、日本語学校留学生結核健診、身体障害者健康診査。	・特定健康診査受診者数68,024人（46.1%）		健康福祉局	保険年金課
	③多様な手段を活用した、市民健診、特定健診の受診勧奨	市政だより、ホームページ、情報コーナー等を活用し、受診勧奨する。また、団体の会報なども活用して周知する。	・区役所1階ロビーや健康情報コーナーでの掲示 ・乳幼児健診会場にて保護者向け受診勧奨ポスターを設置及び声がけ ・復興公営住宅4か所、防災集団移転地区1か所にて、健診申込会を実施 ・市政だより、ホームページ、フェイスブックに情報掲載 ・講習会時の周知		各区	家庭健康課 保健福祉課
	④ハイリスク者へ向けた特定健診等の受診勧奨(追加)	低所得者をハイリスク者として捉え、区保険年金課と連携し、健診受診の啓発を行う。	・区保険年金課窓口にて健診受診勧奨のポスターを掲示		宮城野区	家庭健康課
	⑤健診受診率向上に向けた取り組み	健康づくりイベントや健康教育等での啓発を強化する。社保から仙台市国保に切り替える加入者、豊齢カード交付対象者（R2年度65歳になる方）への個別勧奨等を行う。	・個別勧奨75件		太白区	秋総保健福祉課
(2) 事業所や被用者保険の医療保険者等との連携強化により、生活習慣病に関する情報を発信する	①各団体や事業所と連携した健康教育	消防団や組合等様々な団体等と連携して、健康教育を行う。 企業や組合等様々な団体等と連携して、健康教育を行う。	・生活習慣病予防、健康管理、運動・ストレッチ等の講話を実施 16回408人 ・生活習慣病予防出前講座を実施 7回 539人	○	各区	家庭健康課 保健福祉課
	②衛生課と連携した健康教育	衛生課主催の衛生講習会への参加者を対象にした健康教育の実施。	・理容・美容衛生講習会 6回 404人 ・業種別食品衛生講習会 4回 228人	○	仙台市健康福祉事業団 青葉区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課
	③健康づくり情報の発信	定期的に、事業所へ健康に関する情報を発信する。店舗等は、来店した客への情報発信もできる。	・タクシー会社（区内の事業に賛同する会社）定期的に健康づくり情報を提供：5社 年12回 ・理美容店（区内協力店）定期的に健康づくり情報を提供：63店舗 年12回 ・事業所（区内協力事業所）不定期に健康づくり情報を提供：2社 ・自動車学校 4か所（1回）	○	青葉区 宮城野区 太白区 泉区	家庭健康課
(3) 歩きやすい、運動しやすい環境づくりを行い、身体活動量の増加を促す	①トワイライト・バス	夕方5時以降のトレーニング室、プール、軽運動場の利用定期券を発行し、仕事帰り等にもスポーツができる環境作り。	・利用者 延べ85,403人（令和2年3月末現在）	○	文化観光局	スポーツ振興課
	②マイタウンスポーツ活動の推進	地域スポーツ活動の充実を図り、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。	・体育の日のスポーツイベントとして、市内スポーツ施設の無料開放や区毎にスポーツレクリエーションまつりを開催 16,692人参加	○	文化観光局	スポーツ振興課
	③市民センターでの講座	各市民センターにおいて実施する健康維持・健康増進に関する講話や実技を通して、自分自身の健康づくりへの興味・関心を深め、実践していくきっかけ、実践等を学ぶ講座を開催する。	・32館で40事業実施し、延べ5,895人が参加		教育局	生涯学習支援センター
	④まちなか歩数表示	市民の健康の増進を図るため、地域団体や市民活動団体等が、歩くことの意識付けを行う啓発表示をすることに対する補助事業。	・3団体へ補助金交付（YARVOG、青葉山・八木山フットパスの会、八木山地区まちづくり研究会）	○	健康福祉局	健康政策課

		⑤ウォーキングマップの作成	多種のマップを作成し、ホームページからダウンロードして活用できる。	・ウォーキングマップの改編および増刷 (コース：定禅寺通～宮町～北四番丁、定禅寺通～西公園)	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		⑥ウォーキングイベント	日常的に取り組みやすいウォーキングの正しい知識と技術を学ぶ機会を設けることで運動習慣の獲得につながる。	・20～60代の女性限定で募集し、食事のワンポイントアドバイスとウォーキングのポイント実技実施 14人参加		若林区	家庭健康課
		⑦自転車安全利用講習会における取組	高齢者向けに実施する自転車安全利用講習会(6回)の中で、健康体操やストレッチを実施する。(区家庭健康課または健康増進センターに出前授業として依頼)	・自転車安全利用講習会にて、健康体操やストレッチを実施 5回・61人参加	○	市民局	自転車交通安全課
		⑧せんだいスマート	公共交通の利用促進を働きかける取り組み(モビリティ・マネジメント)として、転入者を対象に市内の公共交通の利用を促すリーフレットを配布するほか、路線バス沿線の地域住民を対象にワークショップを行い、公共交通利用促進の機運を高める取り組みを実施する。	・転入者に対し、せんだいスマートリーフレットの配布 22,950部 ・鶴ヶ谷、川平地区の住民有志と作成した、地域の路線バス利用を促す情報提供ツールを地域住民へ配布 約3000部	○	都市整備局	公共交通推進課
		⑨ストック活用型都市再生推進事業(リノベーションまちづくり)	公共空間の利活用による都心部のにぎわいづくりの取組を実施。 ・公共空間利活用イベントの後援 ・歩行者の回遊性を高めるための取組みとして、民間事業者のイベントで歩道内にベンチを設置する等社会実験の実施を支援	【公共空間利活用イベント】 ・GREEN LOOP SENDAI2019 : 定禅寺通・西公園 ・アースデイ東北2019 : 錦町公園 ・立町たちのみ : 定禅寺通 ・たちまちグリーンマルシェ : 西公園 ・大町二丁目日用品店市&お花見縁日 : 青葉通・西公園 ・青葉通り納涼祭 : 青葉通 ・DAYOUT!! : 肴町公園 ・青葉通BEER PICNIC : 青葉通 【社会実験】 ・晩翠通におけるベンチ設置 ・定禅寺通におけるストリートファニチャー設置 (定禅寺通活性化室実施)	○	都市整備局	都心まちづくり課
		⑩まち再生・まち育て活動支援事業	地域主体のエリアマネジメントによるまちづくりを推進するため、公共空間の利活用や維持管理の実現に向けた検討・検証等の取り組み(公共空間利活用イベント等)を支援。	・青葉通芝生プロジェクト: 青葉通 R元11月開催、約300人参加 ・多芸多菜市: 宮城野通 3回実施、計750人)参加	○	都市整備局	都心まちづくり課
		⑪市民のみどりに関する活動への参加の推進	・緑の活動団体認定制度 市認定「緑の活動団体」が行う、緑の保全・創出・普及活動(自然観察会、森林散策等のイベント)への市民参加。 ・コミュニティーガーデンづくり事業 (花壇づくり助成、花いっぱいまちづくり助成、ポケットパーク推進事業)	・緑の活動団体認定制度 市認定「緑の活動団体」が行う、緑の保全・創出・普及活動(自然観察会、森林散策等のイベント)への市民参加。 16回開催・816人参加 ・コミュニティーガーデンづくり事業 花壇づくり助成 281団体 花いっぱいまちづくり助成 7団体 ポケットパーク推進事業 6カ所	○	建設局	百年の杜推進課
		⑫地下鉄駅階段への消費カロリー表示	地下鉄駅構内(仙台駅、勾当台公園駅等)の階段に、階段を昇った時に消費するカロリーを表示し、地下鉄利用者の健康づくり・体力づくりに活用してもらおう。	・地下鉄駅構内(仙台駅、勾当台公園駅等)の階段に、階段を昇った時に消費するカロリーを表示	○	交通局	営業課
		⑬障害者スポーツ教室開催事業	障害のある方々に対して、各種のスポーツ教室を開催し、健康の増進と障害者スポーツの普及を図る。	・障害者スポーツ教室 23回開催、延べ580人参加 ・障害者ボウリング教室 31人 ・ウエルフェアスポーツ2019 467人	○	健康福祉局	障害企画課
(4)	健康づくりに取り組む事業所への支援を強化する	①わかりやすい指導教材の作成	生活習慣病予防に関する教材を作成し活用をすすめる。	・新入社員の生活習慣病予防講座 : 2回 延べ62人 ・減量チャレンジ講座 : 1回 11人 ・地区ごとに健診データを分析した資料を作成し、民生児童委員の定例会等で配布		仙台市健康福祉事業団 若林区	仙台市健康増進センター 家庭健康課
(5)	健康診査結果でリスクのある人の重症化予防のための取り組みを強化する	①基礎健診受診者への事後指導	健診結果にて、生活習慣改善の必要性が高いと判定された方に保健指導を実施する。	・対象者345人に対し電話や文書による受診勧奨および指導の実施 基礎保健指導利用者: 7人		各区	家庭健康課
		②国民健康保険特定保健指導	特定健診の結果階層化により積極的支援及び動機付け支援と判定された方へ保健指導を実施する。	・特定保健指導 695人 (動機付け支援571人、積極的支援124人)		健康福祉局 各区	保険年金課 家庭健康課
		③生活習慣病重症化予防対策	健診の結果、要医療と判定されながら治療していない者に対して、電話や通知文等で受診勧奨をし、リスクが高いものに対しては訪問して保健指導を実施する。	【特定健診(検査値高値者への受診勧奨事業)】 ・対象者1,801人へ受診勧奨通知を送付(中性脂肪、腎機能該当者393人は医療機関受診確認票を同封、LDLコレステロール該当者1,408人は通知のみ) ・中性脂肪、腎機能該当者281人より、医療機関受診確認票の返信あり(返信率71.5%) ・中性脂肪、腎機能該当者で受診確認ができなかった180人について、保健年金課で電話による受診勧奨(保健指導)を実施		健康福祉局	保険年金課
			基礎健診の結果、要医療と判定されながら治療していない者に対して、電話や通知文等で受診勧奨をし、リスクが高いものに対しては訪問して保健指導を実施する。	・対象者41人に受診勧奨の通知文及び受診状況確認票を送付 ・アンケート未返信者等の要確認者に対し訪問・電話にて受診勧奨及び保健指導を実施		各区	家庭健康課 保健福祉課

		④糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健診の結果、糖尿病性腎症が心配される医療機関未受診者に対して、通知文による受診勧奨を実施する。さらに、通知後も未受診の者には電話や訪問等で受診勧奨及び保健指導を実施する。	【A.糖尿病性腎症】 ・保険年金課より対象者1,482人へ受診勧奨通知と医療機関受診確認票を送付。 ・1,019人より医療機関受診確認票の返信あり（返信率68.8%） ・受診確認ができなかった686人について、各区・総合支所で電話や訪問（面談）等による受診勧奨（保健指導）を実施 【B.治療中断者】 ・保険年金課より対象者73人へ受診勧奨通知を送付し、内69人に電話による受診勧奨を実施 ・事例検討会 ・従事職員向けの医師講話及び事例検討会を年2回実施 延べ43人参加	健康福祉局 各区	保険年金課 家庭健康課 保健福祉課
(6)	壮年期のその他の生活習慣病発症予防	①健康手帳の交付	日々の健康に関する数値を記録する。	・窓口・イベント等での配布 652冊 ・仙台市版健康手帳の作成が終了したため、代わりに『血圧記録表』や「自分シート（健康管理表）」を作成し配布	各区	家庭健康課
		②障害者の健康づくりに関する事業の調査	障害者の健康づくりに関する各機関の取り組み状況を把握し、課題の共有を行い、今後の事業展開に活かす。	・各区ネットワーク会議において地域情報の収集を行い、ネットワークの構築	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		③健康づくり講座の開催	働き盛りの世代の肥満や運動不足などの生活習慣の改善を促すことを目的とした講座の開催 多職種による健康相談や、疾患や健康課題に合わせた講座の開催。	・新入社員の生活習慣病予防講座：2回 延べ62人 ・減量チャレンジ講座：1回 11人 ・ヘルスアップセミナー（一般）：1回 27人 ・ヘルスアップセミナー（団体）：2回 33人 ・栄養講座：2回 延べ53人	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
				・健康づくり講座 24回 延べ477人 健康相談 延べ 56人	各区	家庭健康課 保健福祉課
		④生活習慣病講演会の開催	生活習慣病の病態や予防法についての講演会を開催する。	・ヘルスプロモーション啓発セミナー 講演「メタボと糖尿病を糖質のとり方で防ぐ」：60人	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		⑤地域の生活習慣病予防事業	地域の特徴や課題をふまえ、糖尿病予防及び重症化予防についての正しい知識を地域の関係機関の連携により周知啓発する。	・高森地域連携事業「高森T-Café」 3回 延べ27人参加	泉区	家庭健康課
		⑥幼稚園や児童館、小中学校との連携	父兄や児童を対象にした健康教育の実施や、ライフステージの特徴に合わせた情報提供	・児童館、市民センター等と連携し健康教育や啓発を実施 393人	各区	家庭健康課
		⑦生活習慣病予防イベント	体力測定や血管年齢測定等の体験型のイベントを行い、生活習慣病についての知識を深め、自身の生活習慣を振り返る機会とする。	・体力測定・血管年齢測定 24人参加 健康相談 1人	青葉区	宮総保健福祉課
				・健康づくりフェスティバル 2038人 ・六郷保健センターまつり 397人 七郷保健センターまつり 743人	若林区	家庭健康課
				【地域のイベントにおける健康づくりコーナー開設】 ・まつりだ秋保（血管年齢測定・健康クイズ）延べ375人 ・スポーツレクリエーション大会（簡易体力測定）65人 ・ガスフェアなどのイベントでの健康づくり啓発として、呼気一酸化炭素濃度、血圧測定、握力測定を実施 2回 1,460人	太白区	秋総保健福祉課
				・高血圧予防を重点テーマに啓発を実施 高砂：220人 Mフェス：280人 みやぎのまつり：150人	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
⑧健康づくり支援プラン事業	一人一人の健康づくりや介護予防の目的に合わせた健康づくり処方をもとに、健康づくり応援プランを作成し、継続実施を支援する。	・泉中央南にて年1回実施。血圧・骨密度測定、スモーカーライザー、握力測定 来場者136人 個別相談7人	宮城野区	家庭健康課		
		・総合コース 41人（障害者9人、高齢者2人、一般30人） ・簡易コース51人（障害者51人、高齢者7人、一般37人） ・身体活動コース164人（障害者98人、高齢者51人、一般15人） ・食生活コース2人（高齢者2人） ・支援プラントレーニング5,514人 （障害者3,936人、高齢者1,097人、一般481人） ・1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月フォロー 332人 ・生活習慣病重症化併発予防事業 6回 40人 ・医師による健康相談	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター		
⑨障害者健康増進事業	障害者の健康増進のための運動教室の実施、および情報収集や発信、支援者や指導員の育成を実施し、専門的な健康づくり支援を行う。	・地域拠点教室 192回 延べ2,719人 ・施設対象教室 10回 延べ155人 ・支援学校対象教室 21回 延べ535人 ・各区障害者自立支援協議会等への参加 ・情報収集やネットワークづくり ・地域、専門機関と連携した個別支援や事業展開	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター		
⑩健康づくり相談	自分の健康状態にあった生活習慣改善により生活習慣病を予防し、健康の自己管理に役立てる。	・15回開催 実22人 延べ24人	宮城野区	家庭健康課		
⑪特定健診の結果を活用した睡眠啓発	国保特定健診の間診結果より睡眠で十分休養がとれていないと回答した40・50歳代男性に対し睡眠に関するリーフレット等を送付し、生活習慣病予防と心の健康に活かす。	・対象者259人へ睡眠に関するリーフレット及び健康づくり相談の案内を送付	宮城野区	家庭健康課		

【3】高齢期の健康を支えるための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 高齢期の健康づくりに関する情報を発信する	①地域のサロン等への支援	健康情報の提供や健康教育の実施	・健康教育7回 実129人参加（栄養・こころの健康・介護予防等） ・運動教室参加者を対象に健康講話 74回 715人 ・町内会、復興公営住宅等サロンでの健康教育実施 621人 ・4か所 19回 218人 ・介護予防自主グループや老人クラブ連合会での講話 11回212人 ・シルバー人材センター、地区社協、地域のサロン等の依頼による健康教育 6回 延べ222人		宮城野区 若林区 太白区 太白区 泉区	家庭健康課 家庭健康課 家庭健康課 秋総保健福祉課 家庭健康課
			地域で活動するサポーターやボランティアの活動を支援するために、スキルアップ研修会や情報の提供を行うとともに、地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援する。	・地域の社会資源である運動自主グループの活動継続の支援 グループ訪問：21グループ 巡回支援2件、情報提供2回、世話人会1回、自主グループ体験会1回 59人、会員募集掲載案内	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
(2) 高齢者が健康づくりに取り組むための環境整備を行う	②介護予防自主グループ支援、介護予防サポーター養成講座	地域において主体的・継続的に運動に取り組むことができる介護予防自主グループの育成とそれを担う介護予防運動サポーターの養成、質の向上のためのスキルアップ研修を行う。また、自主グループ活動が継続するための後方支援を行う。また、地域において主体的・継続的に運動に取り組むことができる介護予防サポーターの養成講座を開催する。	・カード発行数 2,796枚 表彰者数：シルバー賞 709人、ゴールデン賞 446人 100回達成 362人（令和2年3月末日現在） ・新規サポーター養成研修 14回 延べ174人 ・立ち上げ支援 2回 延べ4人 ・追加サポーター養成研修 25回 延べ458人 ・スキルアップ研修 32回 延べ1,210人 ・その他 6回 延べ191人 ・介護予防自主グループ数（令和元年度末）234団体 ・新規サポーター養成研修：27回（4区）延べ176人 ・追加サポーター養成研修：30回（5区及び1支所）延べ491人 ・スキルアップ研修：31回（5区及び2支所）延べ 1,178人 ・合同スキルアップ研修：2回 76人 ・活動継続のための支援 25回 延べ137人 ・社の都おトク体操の普及：CD配布 5件	○	健康福祉局 各区	地域包括ケア推進課 障害高齢課 保健福祉課
			・5地域で講座実施 38回 ・講座終了後5地域で自主的に活動を継続 ・育成後の活動継続支援 11回 ・新規立ち上げなし ・立ち上げ2年間に限り、年2回フォロー（区・包括・事業所） →①通町市営住宅（どんぐりの会）1回 （新型コロナウイルス感染症のため1回中止） ②梅田市営住宅（アクティブ元気会）2回 ③旭ヶ丘4丁目町内会集会所（4丁目健康サークル）2回 ・原町北三町内会 全7回 実15人 延べ71人 （新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため1回分を次年度に延期） ・河原町地域包括支援センター圏域五十人町地区において実施。 全8回 参加者実17人 延べ64人 ・R1年度立ち上げ支援 1カ所 健康講座6回 参加人数 実15人 延べ83人 フォローアップ講座1回 実10人 延べ10人 ・前年度立ち上げグループへの支援：1カ所 フォローアップ講座2回	○	健康福祉局	地域包括ケア推進課
	③シニア世代向け健康づくり講座	多様な健康状態の高齢の方が地域で継続して参加できる運動を中心とした通いの場の創設を目的に、介護予防運動サポーターなしでも自主的に継続できるグループの育成のための講座を行う。	・原町北三町内会 全7回 実15人 延べ71人 （新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため1回分を次年度に延期）	○	宮城野区	障害高齢課
			・河原町地域包括支援センター圏域五十人町地区において実施。 全8回 参加者実17人 延べ64人	○	若林区	障害高齢課
			・R1年度立ち上げ支援 1カ所 健康講座6回 参加人数 実15人 延べ83人 フォローアップ講座1回 実10人 延べ10人 ・前年度立ち上げグループへの支援：1カ所 フォローアップ講座2回	○	太白区	障害高齢課
			○今年度事業対象グループ ・地区：泉中央包括圏域（七北田県営） 事業所：せんだんの丘プラス、講座回数：8回、 グループへの訪問支援回数：9回 （内参加者延べ人数計79名、男性11名、女性68名） ・地区：根白石包括圏域（福岡地区） 事業所：健生、講座回数：8回、グループへの訪問支援回数：10回 （内参加延べ人数計61名、男性3名、女性58名） ○フォローアップ講座（H30年度立ち上げグループ） ・地区：向陽台包括圏域（永和台地区）、 グループ名：和み会、講座回数：2回、訪問支援回数：3回	○	泉区	障害高齢課
・介護予防支援者研修会 地域で介護予防の支援を行っている方を対象に知識や技術の習得のため開催。内容：運動支援者のための「脳の健康づくり」研修会：61人	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター			

	④地域のサロン等への支援	健康情報の提供や健康教育の実施。	・町内会やサロン、介護予防自主グループ等への健康教育の実施 延べ1169人		青葉区 若林区 太白区	家庭健康課
	⑤被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	被災による生活環境の変化やストレスによる生活不活発病・閉じこもり予防のため、運動を切り口としたサロンを開催。	・令和元年度、新たに防災集団移転地区2か所で運動教室を開始 ・復興公営住宅5か所、浸水地域2か所の計9か所で、町内会や地域包括支援センター等と協働で運動教室を実施 74回 延べ715人参加	○	宮城野区	家庭健康課
・復興公営住宅にて運動教室 3回40人 ・その他運動以外のサロン 4回93人			○	若林区	家庭健康課	
・沿岸部の被災者の集まり（泉集いの会） 10回実施予定もコロナウイルス感染予防対策で2回中止全8回開催 参加実人数16人 延べ人数81人 ・男性の集い（男の手習い教室） 全3回 参加実人数14人 延べ人数19人 ・運動グループ（かんたん体操）の自主的運営の支援、15回、193人 ・被災者向け介護予防運動教室：55回（3区・5ヶ所） 延べ500人			○	泉区	家庭健康課	
・元気高齢者、後期高齢者等を対象に、シルバーセンター、健康増進センターを会場に高齢者運動教室を開催 ・きらら運動教室（概ね60歳以上の方）：22回 延べ1,096人 ・元気あつぷ運動教室（満65歳以上の方）：362回 延べ10,003人 ・はつらつ運動教室（満80歳以上の方）：146回 延べ2,528人 ・いきいき脳活健康教室 （認知機能の低下予防に興味がある満65歳の方）：59回 延べ566人 ・シニアステップアップ運動教室（概ね60歳以上）：117回 3,600人			○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター	
	⑥高齢者健康づくり運動教室	介護予防を推進するために、高齢者を対象にした教室の開催。	元気高齢者、後期高齢者等を対象に、シルバーセンター、健康増進センターを会場に高齢者運動教室を開催 ・きらら運動教室（概ね60歳以上の方）：22回 延べ1,096人 ・元気あつぷ運動教室（満65歳以上の方）：362回 延べ10,003人 ・はつらつ運動教室（満80歳以上の方）：146回 延べ2,528人 ・いきいき脳活健康教室 （認知機能の低下予防に興味がある満65歳の方）：59回 延べ566人 ・シニアステップアップ運動教室（概ね60歳以上）：117回 3,600人		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
	⑦CareTech（ケアテック）推進事業	仙台フィンランド健康福祉センターのネットワークを基に、ITを活用した高齢者向け福祉機器（ケアテック）の開発や実証、導入支援の取組。	・ニーズリサーチ事業： 勉強会に24社45人、介護施設での現場視察には16社3が参加 ・製品・サービス開発委託：5社が納品 ・実証サポート：2件採択 ・導入定着支援事業：セミナー6回開催、3施設でのコンサルティングを実施	○	経済局	産業振興課

【4】その他健康的な生活習慣を形成するための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
その他健康的な生活習慣を形成するための取り組み	①呼吸器の病気や障害のある方の健康づくり	呼吸器疾患特有の障害特性により、生活のしづらさにつながらないよう、同疾患のある方が健康維持や生活障害軽減のため、早期から呼吸リハビリテーションに取り組み始めるよう、環境整備や仕組みづくりを進める。	・呼吸かららくレクリエーションサークル：16歳以上の運動可能で、在宅酸素療法を利用している方、日常的に息切れや息苦しさがある方を対象に、健康づくりのための運動教室の実施 37回・延べ113人 ・呼吸健康教室 春教室：5回、延べ50人 秋教室：5回、延べ63人		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
	②多様な手法を活用した情報の発信	健康課題や各種月間・週間に合わせて、パネル展・庁内放送・区役所1階ディスプレイ表示等を活用した効果的な発信。	・健康増進普及月間等における区役所でのパネル展、リーフレット配布 ・ホームページ、フェイスブックによる啓発 ・健康づくりキャラクターわかちゃんを用いた啓発 ・商業施設での啓発		各区	家庭健康課 保健福祉課
	③未就学児の親子への健康教育	健康づくりへの関心を高める機会とする。	・市民センター、児童館等と連携し健康教育を実施 28回 1026人		青葉区 太白区	家庭健康課
	④常備菜レシピ啓発事業	バランスの良い食習慣づくりをねらい、老若男女が活用できる常備菜レシピ集を市民協働で作成する。	・市民センター2か所と共催講座を実施。内容は、防災講話、当課による県の健康課題と常備菜レシピ集についての講話、栄養士講話、調理実習、試食。参加者は合計22人。 ・常備菜レシピ集についての健康教育2回実施、合計32人参加。 ・地域への普及啓発をねらい、関係機関や団体等へ常備菜レシピ集の説明と配布を実施。		青葉区	家庭健康課
	⑤HealthTech（ヘルステック）推進事業	ヘルスケア分野において、市内IT企業や関係組織との協業により、ITやその他技術を活用し、ヘルスケアの新製品・サービス開発を行う「ヘルステック」産業の振興と人材育成の取組。	・令和元年より開始。ヘルスケア分野において、市内IT企業や関係組織との協業により、ITやその他技術を活用し、ヘルスケアの新製品・サービス開発を行う「ヘルステック」産業の振興と人材育成を実施。	○	経済局	産業振興課
	⑥市民協働による健康づくりイベントの開催	地域住民が実行委員となり、健康づくりイベント「健康のつどい」を企画・開催する。	・115人参加		太白区	秋総保健福祉課

【重点分野2】気付く、つながる、支える心の健康づくり

【1】悩みや不安の解消

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 心の健康に関する情報発信を強化する	①心に関する相談窓口等の周知	地区社会福祉協議会の役員や福祉委員を対象にストレスやうつについての研修を行い、つながり支えあえる地域づくりに取り組む。	・こころの健康づくり講演会 1回36名		太白区	秋総保健福祉課
	②相談窓口・相談体制の整備、心の相談窓口等の紹介と紹介資料の設置	復興公営住宅における相談窓口開催や相談体制を整備する。心の相談窓口等の紹介と紹介資料の設置箇所を増やす。	・主に復興公営住宅入居者を対象としたヘルスアップ通信の発行。 (年4回 総数4,920部)		若林区	家庭健康課
	③自殺対策の総合的な取り組み	本市の自殺の実態に関する情報を市民や関係機関へ発信、ホームページによる市民や関係者向けの啓発、自殺予防週間、強化月間での啓発、パンフレットの作成を行う。	・自殺予防週間に合わせたポスターの作成と配布(377ヶ所、454枚) ・相談窓口の周知のためのチラシの作成と配布(212ヶ所、8,280枚) ・ホームページを利用した相談窓口の周知		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	④学校における取り組み	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用などについて啓発を図る。	・スクールカウンセラーの相談件数は仙台市立小、中、高、特支学校の合計で14,975件。情報交換や心理教育等の活動を含めると51,123件。スクールソーシャルワーカーは7名体制で、訪問回数は749回、電話が2,655回。		教育局	教育相談課
	⑤思春期問題研修講座、思春期保健教育	思春期の事例に携わる教職員や関係機関職員を対象に、思春期精神保健に関する基本的な知識を提供する。	日時：令和元年9月20日 講話：「青年期外来で出会う子どもの姿から見えてくるもの」 講師：精神科医 青木省三氏 参加者：99名		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		思春期の男女及びその保護者を対象として、思春期健康教育を行い、新進の健康やその発達について正しい知識の普及啓発を行う。	・小学校3校(延206名)、中学校1校(延104名)で実施。講話に対する生徒の反応は良く、アンケートにおいても命の大切さや子育ての大切さを実感した内容のものが多くみられる。 開催回数 2回 ・児童自立支援施設 中学生12人、教員5人 ・性感染症予防、デートDV、相談窓口見学(家庭健康課、管理課) ・小学校4年生と保護者 222人		若林区 太白区	家庭健康課 家庭健康課
	⑥いのちの大切さを伝える取り組み	教育局健康教育課と連携し、市立中学校・高校において宮城県助産師会が思春期健康教育を実施する。	・健康教育 9校・835人 (中学校、児童自立支援施設中学校、中学生保護者)		宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 秋総保健福祉課
	仙台市立小中学校において、いのちを大切に教育の取組を推進する。また、教員向けに研修会を行い、意識付けを図る。	・区内小学校1校に「命の大切さ」をテーマに実施。 参加者：小学生53人、保護者34人。 ・全ての学校においていのちを大切さについて考える学習に取り組んだ。教員を対象にした研修会を実施した。		泉区 教育局	家庭健康課 教育指導課	
(2) 従業員数の少ない事業所が利用できる支援機関を周知・啓発する	①働き盛り世代に届く情報の発信	地域・職域と連携し、相談窓口一覧等を記載した啓発リーフレットや啓発グッズ等を活用し、働き盛り世代に向けた情報発信を行う。 生活習慣病予防事業や健康教育の場を活用して啓発を行う。	・健康教育：町内会にて、こころの健康に関する健康教育を実施。(1回。参加者29名。) ・小学校：小学6年生の保護者会にて、こころの健康づくりについて講話。(2校にて実施。延べ参加者43名) ・保育所、小学校、児童館等：母子保健関連会議にて、健康教育のPRとともに相談窓口一覧、こころの健康づくりグッズ等を配布。(年2回、延べ参加者90名) ・宮城地区まつり：中学生ボランティアスタッフに対し、こころの健康づくりリーフレットおよびグッズを配布。(48部) ・課内研修：臨床心理士を講師に招き、面接技術とセルフケアに関する研修会を実施。参加職員17名。 ・生活習慣病予防イベント：来場者に対し、こころの健康づくりリーフレットおよびグッズを配布。(24部) ・自殺予防週間：当課窓口前の啓発コーナーにて、こころの健康に関するポスター掲示、当該リーフレットおよびグッズを設置。 ・自殺対策強化月間：広瀬図書館との協働により、図書館内にこころの健康に関する特設ブース「こころの声を耳にすませてみませんか? ~頑張らずにいてるあなたへ~」を開設。 関連図書および相談先一覧等のチラシを設置。		青葉区	宮総保健福祉課

				<p><再掲：重点1【2】(2)③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社（区内の事業に賛同する会社）定期的に健康づくり情報を提供：5社 年12回 ・理美容店（区内協力店）定期的に健康づくり情報を提供：63店舗 年12回 ・事業所(区内協力事業所)不定期に健康づくり情報を提供：2社 ・自動車学校 4か所 (1回) ・事業所 1回 50人 「疲労とメンタルヘルスの関係」 ・理容・美容衛生講習会 2回 149人 	宮城野区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域・職域と連携し、相談窓口一覧等を記載した啓発リーフレットや啓発グッズ(ティッシュ・絆創膏・缶バッジ等)を活用し、働き盛り世代に向けた情報発信を行う。 ・健康教育等を始めとした健康増進係事業等を活用して啓発を行う。 	<p>【自殺対策強化月間（3月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所本庁舎・東庁舎1階で心の健康づくりに関するパネル展示や、啓発リーフレット40部、絆創膏200部、缶バッジ100個を配布。 ・アリオ仙台泉店に啓発リーフレット200部、区内および近隣大学へティッシュ計250個、のびすく泉中央にぬりえ・カード・絆創膏各50個、ティッシュ100個、泉警察署に絆創膏100個を設置。 ・泉中央南市営住宅へリーフレット2種を全戸配布：180部 ・区役所の窓口(障害高齢課・戸籍住民課・保険年金課・保護課)で啓発絆創膏を配布：各課100部(計400部) ・健康づくり相談、個別禁煙支援の参加者へ啓発リーフレット・絆創膏・缶バッジを配布：計60部 	太白区	家庭健康課
	②職場のメンタルヘルス支援事業	<p>企業の要請により、精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士を派遣し、従業員への研修会を開催する。</p> <p>業種別の団体との連携により、講習会等に合わせて講話や啓発を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会への講師派遣実施回数：5回、支援対象数：230名 ・事業所 1回 50人 「疲労とメンタルヘルスの関係」 ・理容・美容衛生講習会 2回 149人 ・11月に理美容組合の衛生講習会にて、睡眠に関する講話を実施。参加者：1回自40人、2回自44人 	健康福祉局	精神保健福祉総合センター	
				太白区	家庭健康課	
				泉区	家庭健康課	
(3)	職場におけるメンタルヘルス向上を推進する	①心の相談窓口の周知・啓発	<p>「せんだい健康づくり推進会議」と連携して、心の健康づくりに関するリーフレット等を活用し、働き盛り世代に向けた周知・啓発を行う。</p>	<p>「せんだい健康づくり推進会議」（及びワーキンググループ）において、心の健康づくりに関するリーフレット（相談機関一覧記載）等を活用し、周知・啓発を行った。</p>	健康福祉局	健康政策課

【2】ストレスとの付き合い方や心の病気についての正しい知識の普及・啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
ストレスとの付き合い方や心の病気についての正しい知識の普及・啓発	①自殺対策の総合的な取り組み	全庁的な窓口職員、保健師等の専門職員、民生委員、地域包括支援センター、司法書士等のゲートキーパーを養成する。	<p>①自殺対策ゲートキーパー養成研修（一般職員対象）講話「こころの声に気づく～職員1人1人ができること」、グループワーク 参加者：56名</p> <p>②地域自殺対策研修（専門職対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 講話「事例を通して考える～自殺リスクアセスメントと自殺防止のための基本対応～」参加者：85名 ・第2回 講話「ロールプレイや事例検討を交えて～自殺リスクの高い方への対応の実際～」参加者：84名 <p>③ゲートキーパー養成に関わる研修への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北学院大学主催（参加者：教職員105名） ・国土交通省東北地方整備局主催（参加者：職員24名） ・青葉区障害高齢課主催（参加者：専門学校職員10名） ・宮城野区障害高齢課主催（参加者：介護予防自主グループリーダー57名） ・秋保総合支所保健福祉課主催（参加者：民生委員・社協職員34名） 		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②自殺対策連絡協議会	関係機関、関係団体等と連携しながら、本市における自殺対策の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策連絡協議会：2回（2回開催予定） ・自殺総合対策庁内連絡会議：1回（1回開催予定） 		健康福祉局	障害者支援課
	③精神障害者地域社会交流促進事業	精神疾患・精神障害に対する正しい理解の普及を行い、これに基づく市民の適正な態度の醸成を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカーズビューロー講演会 精神障害のある当事者が自己の体験について語り、疾患に対する誤解や偏見を解消することを目的とした講演会 年間21回開催、聴講者743人（延） ・機関紙発行：4回 		健康福祉局	障害者支援課

④メンタルヘルス協力者養成の取り組み	理美容師や被災者・区民への支援者などを対象に、ワンポイント講座、ステップアップ講座を開催し、自殺防止に繋げるゲートキーパーとして養成する取り組みを行う。	・ゲートキーパー養成：健康教育および包括圏域会議において、ゲートキーパー養成の要素を盛り込んだ講話を実施。 健康教育：1回、29名 包括圏域会議：2回、延べ参加者52名	青葉区	宮総保健福祉課
		・理容・美容合同衛生講習会にて心の健康・ゲートキーパーについての健康教育を実施 2回 参加者合計94名	宮城野区	家庭健康課
		・民生児童委員を対象にゲートキーパーの啓発（9回 208名）	若林区	家庭健康課
		・9月、10月 理容・美容衛生講習会としてゲートキーパーの役割、ストレスへの対処法について講話	太白区	家庭健康課
		・理美容組合員向けの講習会にて、ゲートキーパーについて啓発 対象者数：約100人 ・自殺対策強化月間に自殺対策啓発グッズを庁内や外部機関（警察署、ショッピングセンター等）に配架。	泉区	障害高齢課
⑤自殺予防週間・自殺対策強化月間	自殺予防週間や自殺対策強化月間に合わせてパネル展や啓発グッズの配布により、こころの健康に関する情報提供と啓発を行う。また、身近な人が気づき、病気の早期発見・治療につながることの大切さを啓発する。	・自殺予防週間に合わせたポスターの作成と配布（377ヶ所、454枚）	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		・3月の自殺対策強化月間に区役所内情報コーナーで啓発 ①啓発物を掲示②啓発用リーフレットを置き、自由配布。 ・地域の団体へ出向いた際（活動状況の把握や健康相談の実施のために）、「ストレス」と「睡眠」に関する標語や四コマ漫画（若い世代の健康づくりコンテスト入賞作品）が描かれたカードをポケットティッシュへ入れて配布。	青葉区	家庭健康課
		【自殺予防週間（9月）】 ・パネル展、情報コーナー ・浸水地域への心の健康に関する啓発資料配布（350部） 【自殺対策強化月間（3月）】 ・パネル展、情報コーナー ・ポケットティッシュ及びチラシ等啓発グッズの配布 （区内専門学校、自動車学校、児童館等）2,517部配布 ・浸水地域への心の健康に関する啓発資料配布（350部） ・既存事業の中での啓発（離乳食教室・運動教室等） 【その他】 ・相談窓口等のリーフレット、自死予防の啓発用ポケットティッシュ設置	宮城野区	家庭健康課 障害高齢課
		・自殺予防週間パネル展示とリーフレット配布（区役所） 配布部数545部 ・自殺対策強化月間パネル展示リーフレット配布（区役所）配布部数665部 ・心と女性の健康に関する啓発（イオンスタイル仙台卸町） →新型コロナ対策で中止	若林区	家庭健康課
		・情報コーナー、区役所、秋保総合支所パネル展での啓発、 ・商業施設でのパネル展と啓発、啓発物配布 ・通勤通学の時間帯に地下鉄周辺の街頭にて、若年者、勤労者にターゲットを絞った啓発物の配布を計画していたが、新型コロナウイルス対策のため中止となった。	太白区	家庭健康課
		<再掲：重点2【1】(2)①> 【自殺予防週間（9月）】 ・区民を対象に、泉区役所にて睡眠講演会（講話・筋弛緩法の実技）を実施。計55名（区民35名、関係機関職員20名）参加。会場内に心の健康づくりに関するパネルを展示し、啓発グッズ・リーフレットを配布。 【自殺対策強化月間（3月）】 ・区役所本庁舎・東庁舎1階で心の健康づくりに関するパネル展示や、啓発リーフレット40部、絆創膏200部、缶バッジ100個を配布。 ・アリオ仙台店に啓発リーフレット200部、区内および近隣大学へティッシュ計250個、のびすく泉中央にぬりえ・カード・絆創膏各50個、ティッシュ100個、泉警察署に絆創膏100個を設置。 ・泉中央南市営住宅へリーフレット2種を全戸配布：180部 ・区役所の窓口（障害高齢課・戸籍住民課・保険年金課・保護課）で啓発絆創膏を配布：各課100部（計400部） ・健康づくり相談、個別禁煙支援の参加者へ啓発リーフレット・絆創膏・缶バッジを配布：計60部	泉区	家庭健康課

⑥心の健康づくり講演会、地域健康教育	講演会や講座(地域健康教育)等の開催により、ストレスへの上手な対応や心の病気に関する正しい知識の啓発を行う。	・区内専門学校教職員を対象とした青年期メンタルヘルス研修会の開催 ・心の健康づくり講演会の実施「伝える力〜気持ち伝えるコミュニケーション〜」講師：東北大学災害科学国際研究所(兼務)大学院情報科学研究所邑本教授、R2年1月実施。民生委員や社会福祉協議会といった地域の支援者にも周知した。49人参加。 ・健康教育：職域からの依頼により実施1回33人「メンタルヘルスについて」、管内給食施設従事者研修会1回83人「睡眠と健康」 地区健康教育 ・事業所を対象に睡眠についての健康教育を実施(参加者23名) ・地域住民を対象に高齢者の心の健康についての健康教育を実施(参加者25名) ・市民向け健康生活講座の開催 アンガーマネジメントについての講話・ワークショップ(参加者6名) ・区内中学校健全育成連絡協議会 32名	青葉区	障害高齢課
		・「こころの健康づくり講演会」を計画していたが、新型コロナウイルス対策のため中止となった。講演会実施に当たり、復興公営住宅の各町内会長の了解を得て、復興公営住宅内ポスター掲示と全戸へのちらし配布を行った。	青葉区	家庭健康課
		<再掲：重点2【2】⑤> ・9月に区民を対象に、泉区役所にて睡眠講演会(講話・筋弛緩法の実技)を実施。計55名(区民35名、関係機関職員20名)参加。会場内に心の健康づくりに関するパネルを展示し、啓発グッズ：リーフレットを配布。 ・10月に保健指導者研修会にて、保健指導に従事する仙台市職員(保健師や栄養士等)を対象に、睡眠講演会(講話・筋弛緩法の実技、睡眠スケジュール法の実習)を実施。計21名(職員17名、学生4名)参加。	宮城野区	家庭健康課
			若林区	家庭健康課
			太白区	家庭健康課
⑦学生を対象とした啓発	・新学期の時期である5月～6月に、区内の専門学校や大学を訪問し、学生を対象とした心の健康づくりや相談窓口を掲載したリーフレット、ティッシュ等の配布を依頼する。 ・アルコールや薬物問題に関する高校生への講義や、若年層の自死予防を図るボランティアサークルの運営と、大学での講義、啓発媒体の作成などの普及啓発活動の実施。	①若年層向けの普及啓発活動の検討会 ・市内及び近隣の大学の学生をメンバーとしたボランティアサークル「YELL」で、普及啓発活動の検討を実施。開催回数：11回、参加者：30名(延68名) ・若年層向けメンタルヘルスに関する普及啓発媒体の作成(パンフレット作成：800部)と配布 ・ボランティアサークル「YELL」による大学の講義を利用した自死予防、メンタルヘルスの啓発の実施。実施数：4大学で計8回、受講数：448名 ②宮城大学、仙台白百合女子大学、東北学院大学の図書館等において自死予防の啓発を実施 内容：メンタルヘルスの書籍の紹介及び啓発媒体の配とパネル展示。 ③仙台白百合女子大学祭での啓発 ・仙台白百合大学の学生で自死予防を図るサークルメンバーが、学園祭で心のセルフケアに関するブースを出展。啓発媒体の配布(クリアファイル100部、パンフレット100部)	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	自殺対策強化月間である3月に、区内および近隣大学を訪問し、学生を対象とした心の健康づくりや相談窓口を掲載したリーフレット、ティッシュ等の配布を依頼する。	<再掲：重点2【1】(2)①> ・区内および近隣大学(4校)に啓発ティッシュを設置：計250個	泉区	家庭健康課
	3月の春休み期間に青年期層の利用が多いアリオ仙台泉店、区内及び近隣大学、のびすく泉中央、泉警察署を訪問し、青年期の心の健康づくりの必要性について説明の上、相談窓口を掲載したリーフレットの配布を依頼する。	<再掲：重点2【2】⑤> ・アリオ仙台泉店に啓発リーフレット200部、区内および近隣大学へティッシュ計250個、のびすく泉中央にぬりえ・カード・絆創膏各50個、ティッシュ100個、泉警察署に絆創膏100個を設置。	泉区	家庭健康課
⑨ひきこもり講演会	広く市民一般を対象に、ひきこもりについての正しい知識の普及啓発を行う。	日 時：令和元年5月11日 会 場：仙台市福祉プラザ ふれあいホール テーマ：「ひきこもりとつながり ーわたしたちの『良かれ』の再吟味ー」 講 師：白梅学園大学教授 長谷川俊雄氏(社会福祉士・精神保健福祉士) 参加者：182名	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
⑩若い世代の健康づくり	区内専門学校生を対象に子宮がん検診・20歳のデンタルケア検診・食育推進・心の健康づくり等に関する啓発を行う。	<再掲：重点1【1】(5)④> ・専門学校に対し啓発媒体配布 心の健康づくり媒体 300部	宮城野区	家庭健康課
⑪特定健診の結果を活用した睡眠啓発	国保特定健診の間診結果より睡眠で十分休養がとれていないと回答した40・50歳代男性に対し睡眠に関するリーフレット等を送付し、生活習慣病予防と心の健康に活かす。	<再掲：重点1【2】(6)②> ・対象者259人へ睡眠に関するリーフレット及び健康づくり相談の案内を送付	宮城野区	家庭健康課

【3】被災者の心のケアの実施

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
被災者の心のケアの実施	①震災後の生活困りごとと、こころの健康相談会	自殺の要因の一つである経済的な問題を抱える人の多くが、抑うつ状態に陥っていることが多いことから、経済問題に関する相談と併せてこころの健康相談を実施し、生活再建に向けた一助とすることで自殺予防を図る。	・定例の相談会 （司法書士による司法相談と、精神保健福祉総合センター職員によるこころの相談）実施回数：11回、相談件数：27件 ・自殺予防週間、月間に併せた相談会 （弁護士による司法相談と、精神保健福祉総合センター職員によるこころの相談）実施回数：2回、相談件数：25件		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②震災後の心身の体調管理やストレス・休養・睡眠についての働き盛り世代を意識した啓発	震災後の心身の体調管理やストレス等について、働き盛り世代を意識した啓発を行う。	・こころの相談の普及啓発 ・自殺予防週間パネル展示とリーフレット配布（区役所） 配布部数545部 ・自殺対策強化月間パネル展示リーフレット配布（区役所） 配布部数665部 <再掲：重点2【2】⑤> ・事業所 1回 50人 「疲労とメンタルヘルスの関係」 理容・美容衛生講習会 2回 149人		宮城野区 若林区 太白区	障害高齢課 家庭健康課 家庭健康課
	③被災者の戸別訪問支援	震災後の心身の体調管理やストレス等について戸別訪問を通して状況を把握し、適切な支援を行う。	・継続支援世帯8世帯、訪問・面接・電話支援件数合計29件 （青葉区家庭健康課） ・実26世帯、延29世帯（宮総保健福祉課） ・区職員訪問延件数 1,164件 （うち、はあとぼーと職員との共同訪問239件） 看護協会と連携した継続支援：戸別訪問 延291件 ・個別支援（訪問、電話）実績数 延べ599件 そのほか復興公営住宅各戸にヘルスアップ通信をポストインし、気になる被災者には声がけを実施（1230件×年4回） ・復興公営住宅 464件、地域在住者 93件、民間賃貸住宅 1件 訪問、電話、面接等により延べ558人の相談に対応した。 ・宮城県健康調査後の訪問 （K6:13点以上・治療中断・朝から飲酒など心身の健康面で気になる方） 48件		青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 宮総保健福祉課 家庭健康課 障害高齢課 家庭健康課 家庭健康課
	④震災こころのケア事業	震災の影響による様々な心の健康問題に対応するため、震災ストレスのハイリスク者等に対して、家庭訪問による個別支援や、被災者の支援をしている関係者に対して震災ストレスに関する啓発活動の実施	・震災ストレスのハイリスク者に対する各区保健福祉センターとの協働訪問 210件（延） ・震災後心のケア従事職員研修会 実施回数：7回、参加者：延252名 ・災害時メンタルヘルス研修会 実施回数：1回、参加者：60名 ・宮城県健康に関する調査にて不眠かつK6が5～12点に該当した方72名へ個別訪問を実施 ・復興公営住宅3か所、防災集団移転地区1か所にて健康相談会を計5回開催 （24名参加） ・年2回（9月・3月）に浸水地域への心の健康づくりに関する啓発資料 全戸配布（各350部） <再掲：重点2【3】③> ・区職員訪問延件数 1,164件 （うち、はあとぼーと職員との共同訪問239件） ・看護協会と連携した継続支援：戸別訪問 延291件 ・個別支援件数 延1614件 ・復興公営住宅 464件、地域在住者 93件、民間賃貸住宅 1件 訪問、電話、面接等により延べ558人の相談に対応した。 ・被災者交流支援事業「男の手習い教室（そば打ち教室・料理教室）」のチラシ配布時に、復興公営住宅に入居している 男性宅へ訪問し健康状況を把握した。		健康福祉局 宮城野区 若林区 太白区 泉区	精神保健福祉総合センター 家庭健康課 障害高齢課 家庭健康課 家庭健康課
		地域支援者向け アルコール関連問題研修会	・アルコール関連問題事例検討会：4回 延42人 ・地域支援者向け アディクション関連問題研修会 2回 延べ人数 55人		若林区 泉区	障害高齢課 障害高齢課
	⑤支えあいセンター定期便にて被災者に情報提供	健康づくりや心のケア関連の情報提供・啓発を行う。	・支えあいだよりリーフレットを同封：180部		泉区	家庭健康課
	⑥定期的な交流会の開催	生活情報やメンタルヘルスに関するリラクゼーション、運動、参加者同士の傾聴・情報交換等の実施	<再掲：重点1【3】(2)⑤> ・沿岸部の被災者の集まり（泉集いの会） 8回実施 参加実人数16人 延人数81人		泉区	家庭健康課

	⑦被災者健康診査事業	東北大学と共催でアンケート調査を実施。その結果も元に市民向けに講演会を実施	・区社会福祉協議会と共催 復興リーダーミーティング拡大バージョン 43名参加	若林区	家庭健康課
	⑧自力再建した被災者が居住する地域へのこころの健康づくりの推進	自力再建した被災者が居住する地域において、自治組織や関係機関と連携し、地域全体のこころの健康づくりやコミュニティ形成を支援する。	・自立再建した被災者が居住する地域で、フェーズ5-2期における心のケア対策の一環として地域の関係機関からの情報収集、地区診断、課題の共有をおこなった。	泉区	家庭健康課

【4】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
その他の取り組み	①自殺対策の総合的な取り組み	自殺対策推進センターにおいて、自殺の実態把握や、希死念慮のある方や、自殺未遂者、自死遺族等の相談に対して、専用回線での電話相談、来所・訪問による相談、弁護士・司法書士との連携による相談会を開催。	①相談・支援 ・電話相談 809件 ・自殺未遂者等ハイリスク者への電話、面談や訪問等による支援 36回 ・関係機関への助言や指導 9件 ・司法と連携した相談会（定例開催 11回、相談件数：37件、自殺予防週間・月間に併せた開催 2回、相談件数25件） ②人口動態統計や警察庁統計を用い、本市の自死の実態について分析し、事業に反映		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②来所相談、電話相談（はあとライン、ナイトライン）	来所や電話による、こころの悩みに関する相談を行う。	・来所相談 2,437人 ・はあとライン 2,583件、ナイトライン 8,090件、その他電話相談 1,615件		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	③自死遺族への支援	市内の自死遺族支援活動団体の継続的な広報及び活動の助成を行う。	・対象団体に補助金を交付（3団体×200,000円）		健康福祉局	健康政策課
	④妊産婦・新生児訪問、育児ヘルプ家庭訪問支援事業（乳幼児健診、育児相談）	新生児訪問・育児ヘルプ家庭訪問事業（及び乳幼児健診・育児相談）により、産後うつや育児不安に対する相談支援を行う。	【訪問指導（延人数）】 ・妊産婦10,063人 ・新生児 7,535人 ・未熟児 710人 ・乳児 737人 ・幼児 1,663人 ・その他 1,456人 育児ヘルパー利用時間数 3,827 時間 【育児ヘルプ】 1,273人（延人数） ・育児教室、育児相談会		子供未来局 各区	子供保健福祉課 家庭健康課 宮総保健福祉課
	⑤「幼児健康診査における子どものこころの相談」及び「子どものこころの相談室」	各幼児健康診査における「こころとからだ問診票」による聞き取りと各区で「子どものこころの相談室」を実施	・1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健診、3歳児健康診査時に、問診票を用いて、保護者への聞き取りの実施。 ・各区での子どものこころの相談室の開催（76件）		子供未来局 各区	子供保健福祉課 家庭健康課 宮総保健福祉課
	⑥こころの健康相談（精神保健福祉相談）	精神疾患の治療及び家族等からの相談、問題解決への支援を行うことにより、早期発見・治療、再燃防止を図る。また、住民の偏見を取り除き、精神疾患を持つ方が当たり前の市民生活を送ることができるよう援助する。	・こころの健康相談 190回開催・延361人参加		各区	障害高齢課 宮総保健福祉課
	⑦家族教室（家族のつどい）の開催	・精神障害者の家族が集まり、社会資源の活用について学んだり、家庭での対応の話し合いを行う。 ・アルコール・薬物関連問題を有する家族を対象に、ミーティングでの集団療法や心理教育、教室での講話や、当事者家族の体験談から回復について理解する。 ・ひきこもり状態の家族がいる市民を対象に、集団療法・心理教育的関わりを行うことで、心理的負担の軽減を図るとともに、適切な対応方法の習得ができるよう援助する。	・アルコール・薬物家族ミーティング 実施回数：34回、参加者：55名（延） ・アクション家族教室 医師の講話・自助グループメンバー及び家族の体験談 実施回数：2回、参加者：16名（延） ・ひきこもり家族グループ 実施回数：11回（月1回、H31.4月～R2.2月）、参加者：95名（延） ・ひきこもり家族教室 実施回数：4回、参加者：100名（延）		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		精神障害者の家族が集まり、社会資源の活用について学んだり、家庭での対応の話し合いを行う	・家族教室、家族交流会、自主サロン 66回開催・延579人参加。		各区	障害高齢課 宮総保健福祉課
	⑧市民が抱える高齢や障害に関する複合した課題や困難な課題について、総合相談窓口を設け、ワンストップでサービスを提供する。総合相談について、課内で医師を交えて定期的に事例検討を行い、助言を受けて今後の支援に活かす。	市民が抱える高齢や障害に関する複合した課題や困難な課題について、総合相談窓口を設け、ワンストップでサービスを提供する。総合相談について、課内で医師を交えて定期的に事例検討を行い、助言を受けて今後の支援に活かす。	・こころの相談において指導医とのケースカンファレンス14件。（青葉区障害高齢課） ・課内研修：臨床心理士を講師に招き、面接技術とセルフケアに関する研修会を実施。参加職員17名。（宮総保健福祉課） ・こころの相談：指導医とのケースカンファレンス24件。延べ参加職員53名。（宮総保健福祉課）		青葉区	障害高齢課 宮総保健福祉課
	⑨子どものこころの相談の充実	子どものこころの相談の開催	・12回（うち高砂1回）、相談延べ20人		宮城野区	家庭健康課
⑩子育て交流支援	転入者の多い地域で子育て交流会を開催する。	・ウエルカム広場（原町・宮城野地区）：2回、親子29組 61名 ・ウエルカムパーティ 開催回数：2回（春、秋に開催） 28組		宮城野区 太白区	家庭健康課 家庭健康課	
⑪子育て関係機関のネットワーク推進	子育て支援者のネットワークづくりを推進する。（浸水地域の高砂地区含む）	・子育て支援者交流会：1回 参加者61人 ・虐待防止ネットワーク会議：4回 参加者175名（うち高砂1回49名、岩切1回18人）		宮城野区	家庭健康課	

<p>⑫支援者間のネットワーク推進</p>	<p>アルコール関連諸問題について関係機関の連携を図る</p> <p>誰もが暮らしやすい地域生活を目指し、支援者が連携協働し適切な支援を提供するためのネットワーク作りの推進</p>	<p>・アルコール問題対策連絡会議の開催 日時：令和2年2月4日 参加：17機関、22名 内容：運転免許センターでの飲酒者への取り組み報告と連携</p> <p>①被災者個別支援情報交換会 4回 ②区障害者自立支援会議 ・実務者ネットワーク会議 2回 延105人 ・相談支援事業所等連絡会 9回 延168人 ・全体協議会 1回 42人（委員含む） ・区民まつりでの啓発 約500人 ③地域ケア会議 ・区地域ケア会議 1回 参加者42人（委員含） ※区障害者自立支援協議会全体協議会と合同開催 ・地域包括支援センター連絡会議 3回 ・介護予防のための地域ケア個別会議 4回 ④区民まつりでの啓発（区民会議コーナー） 130人 ・地域ケア会議、障害者自立支援協議会、太白区高齢障害連携事業の実施</p>	<p>健康福祉局</p>	<p>精神保健福祉総合センター</p>
<p>⑬依存症に関する人材育成</p>	<p>相談支援に従事する職員を対象に、依存症や関連問題についての理解や対応を学び、支援者のスキルアップを図る。</p>	<p>・依存症関連問題研修 実施回数：1回、参加者：66名（延）、 講話：「依存症の支援にいかず動機づけ面接」と演習 ・月末スタッフ勉強会 実施回数：10回、参加者：125名（延） 内容：医師講話、回復者からの体験談等</p>	<p>若林区</p>	<p>家庭健康課 障害高齢課</p>
			<p>太白区</p>	<p>障害高齢課</p>
			<p>健康福祉局</p>	<p>精神保健福祉総合センター</p>

【重点分野3】健康な心と身体を支える食生活

【1】健康を支える基本的な食習慣の形成

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 乳幼児、児童、生徒と保護者に向けた望ましい食習慣形成への啓発を強化する	①妊産婦、乳幼児の望ましい食生活についての積極的な啓発	・母子健康手帳交付説明会、母親教室等での栄養講話 ・3～4か月育児教室、離乳食教室、幼児健診における健康的な食生活の啓発と情報発信	・母子健康手帳交付説明会：111回開催、887人参加、個別相談106人 ・母親教室等：77回開催、1122人参加、個別相談38人 ・3～4か月育児教室：205回開催6,355人出席、個別相談958人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月開催予定だった19回中止） ・離乳食教室：60回開催、1122人参加、個別相談320人		子供未来局 各区	子供保健福祉課 家庭健康課 保健福祉課
	②訪問、来所等による乳幼児の食生活相談	・訪問栄養指導事業 ・育児相談等開設時の栄養・食生活相談 ・幼児食相談会の実施（青葉区） ・幼児健診の間診票や健診結果、アンケート等の蓄積により食生活状況を把握し、個別栄養指導に生かす。	・訪問栄養指導事業（乳幼児・妊産婦） 528件 ・育児相談会等での相談 451組 ・電話・窓口等での食生活相談（乳幼児・妊産婦） 557件		各区	家庭健康課 保健福祉課
	③乳幼児の食生活に関する健康教育	・出前講座、宅配講座など、地域に向向いの健康教育 ・1歳児の歯科保健教室における栄養指導（宮城総合支所、泉区）	・健康教育の開催 41回 延べ361組 ・1歳児歯科保健教室 16回、集団指導213組、個別相談52組（宮総・泉）		各区	家庭健康課 保健福祉課
	④食に関する体験を通じた、食育を推進する機会の提供	幼児期の保護者を対象に、体験を通して子どもの時からの望ましい食習慣づくりを支援する講座を開催する。	・児童館等での健康教育（幼児食について）3回32名		青葉区	家庭健康課
	⑤健康的な食習慣についての講座の実施	児童クラブ・児童館を対象に朝食の大切さや間食、栄養のバランスについて等望ましい食習慣づくりに関する講座を開催する。	・児童館、市民センターでの幼児食についての健康教育 3回25組		青葉区	宮総保健福祉課
	⑥地域に向向いの講座の実施	児童館等と連携して体験を通じた「子どもの食育教室」を実施し、食育の推進を図る。	・対象：小学生（3～5年生）2回 48名「飲みものについて学んでみよう」 ・対象：幼児と保護者 1回 14組 おやつ作りと講話		宮城野区	家庭健康課
	⑦子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業	児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	・児童館5館と実施 10回55組		○ 若林区	家庭健康課
	⑧子供の食育講座	子供を対象とした、調理体験等の講座	・子供の食育講座（児童館、市民センター共催） 対象：小学生 実施状況：1回 18人参加 ・食育講座（市民センター、児童センター、保育所子育て支援室共催） 対象：2歳以上の未就学児とその保護者 実施状況：1回 12組参加		泉区	家庭健康課
	⑨父親育児参加推進事業のびすくにおける「パパ's クッキング」他	・父親が参加しやすい土日に、のびすく等において、下記を目的とした料理教室を開催する。 ・子供とのふれあいを食育から感じてもらう。 ・料理をすることにより父親の育児参加を進める。 ・母親と子供たちが楽しめる場（父親の料理、サロン）を提供する。	・のびすく仙台「パパ's クッキング」2回 1回目 8組24名 2回目 11組31名		子供未来局	子供未来局総務課
	⑩保育所における食育の充実	・各施設において、食育計画に基づいた活動計画を作成し、保育の中で食育を展開する。 ・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 ・各施設での食育活動を通して、朝食をバランスよく食べる子が増えることを目指す。	・食育計画に基づき活動計画を作成し保育の中で展開。 全施設で食育計画作成 公立37施設 私立171施設 ・食育活動数（衛生面も含め） 公立1,107回 延29,565人、私立 4,158回 延118,569人 ・朝食をバランスよく食べる働きかけ 公立 118回 延8,256人 私立 617回 延32,639人		子供未来局	運営支援課
	⑪保育所での畑作りとその収穫物を利用した食事作り	・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる経験までつなげる。 ・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。	・畑作りの実施 畑作り計画 公立36施設 私立126施設 ・収穫物を取り入れたメニュー 公立37施設 716回 私立171施設 2445回 ・食した人数 公立 延39,656人 私立 延108,454人		子供未来局	運営支援課
	⑫学校における「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨	食習慣だけでなく、生活習慣・運動習慣と関連させて、総合的・体系的に健康教育を進めていく。	・保護者懇談会や給食試食会、学校だよりや保健だより、給食だよりなどを 通じて早寝・早起き・排便習慣等の生活習慣の大切さや主食、主菜、副菜、汁物のそった朝食の啓発を行った。		教育局	健康教育課
	⑬学校における「食に関する指導」の充実	「食に関する指導推進研修会」を開催し、各学校における手引の活用を推進し、食に関する指導の充実を図る。	・「食に関する指導の手引改訂版（平成26年）」を活用し、各教科における食に関する指導や給食時間の指導の充実を図った。 ・「食に関する指導推進研修会」を開催し、実践校の事例発表や「学校における食育の評価～計画的な実践と評価～」と題して大学院教授が講演を行い、食に関する指導の充実を図った。来年度も継続して研修会を開催する。		教育局	健康教育課

		⑭児童生徒の保護者への啓発 健康やかな体の育成プランの取組として、家庭での食事の改善や「共食」のすすめなど、食生活の充実に向けた取組を行う。	・献立表や給食日よりなどを通じた食育活動の周知、保護者懇談会や給食試食会などを利用しての望ましい食習慣形成の啓発を行った。		教育局	健康教育課
		⑮給食試食会や調理講習会の実施 各学校における保護者対象の給食試食会や給食センターでの市民向けの調理講習会を実施し、体験を通して食育の推進を図る。	・学校給食への理解を深めていただくために給食センターで試食会、調理講習会を開催。試食会は5センターで参加者延べ90名。親子対象調理講習会は1センターで10組20名参加。		教育局	健康教育課
		⑯研修会による食育の推進 健康教育研修会として食育に関する研修会を実施する。	・「運動習慣」「生活習慣」「食習慣」の3分野の取組を総合的に推進するために健康教育研修会を2日（3コマ）開催。参加者延べ227名。 ・市政だよりで市民に啓発を行った。		教育局	健康教育課
		⑰食に関する体験を通じた、食育を推進する機会の提供 保育所(園) 幼稚園、小学校とそれぞれの施設での食育の事例発表や情報交換を実施し、地域での食育を推進する。	・食育情報交換会 1回 41施設42名（青葉区：32施設33名、宮城総合支所：9施設9名）、対象：青葉区管内の食育担当者等、内容：講演、グループディスカッション	○	青葉区	家庭健康課 宮総保健福祉課
		⑱食育サポーター養成と支援 ・地域で活動する食育ボランティアの養成 ・食育サポーターグループが知識や情報の習得、調理技術を学ぶことができるよう、スキルアップ講座を開催する。 ・食育サポーターの活用（地区健康教育、スーパーマーケットとの連携事業、仮設住宅での講座、幼稚園と連携した講座）	・食育サポータースキルアップ講座 2回 参加者14名	○	宮城野区	家庭健康課
		⑲学校保健に関する懇談会を通しての情報発信 区内小中学校等の養護教諭や保健主事等を対象とした、学校保健に関する懇談会を開催し、地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有する。	・1回14名(14校)	○	若林区	家庭健康課
		⑳食育関係研修会 子どもの健康づくりや食育に関わる関係機関（保育所・保育園・幼稚園・小学校）が、子どもを取り巻く食や健康の課題を共有し、連携しながら食育を推進していくため、研修会や情報交換会等を行う。	・食育担当者情報交換会 参加施設数 49施設、参加者数 51名 事例紹介「施設における食育の取り組みについて」 講師 仙台市上野山保育所 関口 志津氏 仙台市袋原保育所 平塚 志野氏 情報提供「保健福祉センターで見る乳幼児の状況と関わりについて」 太白区家庭健康課栄養指導員 情報交換「食育の取り組みや給食の対応等について」	○	太白区	家庭健康課
		㉑学校・保育所・地域栄養連絡会の開催 各機関における食育の取り組みや健康課題等について共有し、地域での食育や健康づくりを推進する	・6機関6名参加	○	太白区	秋総保健福祉課
		㉒食育ボランティア団体を活用した食育の推進 児童館での健康教育、食育イベント等で、食育ボランティア団体を活用し、地域に向け食育の情報を発信する。	・食育講座（児童館・児童センター共催） 乳幼児の親子 8組 泉食生活改善推進員 3名 ・おやこの食育教室（食生活改善推進員会主催事業） 小学生親子 13組 泉食生活改善推進員 3名	○	泉区	家庭健康課
		㉓地域と共に育む子どもの健康づくり事業 児童館と連携し、食生活、歯と口、喫煙防止をパッケージとした啓発により、学齢期からの望ましい生活習慣確立と、保護者への波及をねらった講座を開催する。	・実施児童館数 5館、参加者延307名		太白区	家庭健康課
(2)	青年期における健康的な食生活の重要性と改善への啓発を強化する	①大学生の食育プロジェクト 大学生との協働により、市民、特に若い世代の食の課題を共有し、関心を高めるための取り組みを企画する。	・『「野菜を食べることを実践する若者を増やそう」テーマに食育ワークショップを開催し、レシピ集を作成 開催6回 延べ60人(2大学)		健康福祉局	健康政策課
		②若い世代の健康づくり支援事業 管内大学の新生入生や、職員を対象とし、若い世代の食を含めた健康的な生活習慣の獲得につなげるための健康教育を実施する。 区内専門学校生を対象に食育推進に関する啓発を行う。	・東北工業大学 1年生を対象に栄養・歯科・喫煙防止をセットにした内容で生活習慣改善啓発の講話 1回 115名 ・東北工大職員を対象に健康づくりの講話による啓発 1回27名（個別1名） <再掲：重点1【1】(5)④> ・専門学校6校に対し啓発媒体配布 検診啓発・食育推進・受動喫煙防止リーフレット 1,310部	○	宮城野区	家庭健康課
		③管内大学での食育啓発活動 管内大学、大学生協との協働により、大学祭やイベントで健康的な食生活について啓発する。	・東北生活文化大学：大学祭での食育ブース設置と啓発活動、2日間のブース参加者延 106名		泉区	家庭健康課

【2】高齢期の健康を支える食生活の実践支援

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1)	高齢者のフレイル予防の視点から栄養・身体活動等の関連性をふまえ、食事の重要性についての啓発と支援を強化する	①高齢者の食生活に関する地域健康教育 町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育 ②介護予防運動サポーター事業における健康教育 ・介護予防運動サポータースキルアップ研修会での、健康的な食生活についての講話 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 ③食生活改善推進員会における研修 食生活改善推進員会の地区研修会で低栄養予防についての講話・調理実習を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	・健康教育の開催 18回 406人 ・介護予防運動サポータースキルアップ研修会での食生活講話の実施 5回 167人 ・6/26 11名参加		各区 各区 青葉区	家庭健康課 保健福祉課 家庭健康課 保健福祉課 宮総保健福祉課

	④シニア世代向け介護予防栄養講座	概ね65歳以上の方に対し、栄養士による栄養講話や調理実習を実施することで、高齢期における栄養バランスのとれた食事について啓発を行い、食生活の向上及び食の自立を目指す。	・31回開催 延べ443人		健康福祉局	地域包括ケア推進課
	⑤元気応援教室（通所型短期集中予防サービス）	要支援1、2と判定された方、または65歳以上で豊齢力チェックリストにより事業対象者と判定された方に対して、運動機能、口腔機能向上に加えて、栄養改善のための講話を複合的に組み合わせた介護予防プログラムを短期集中的にデイサービスセンターやフィットネスクラブ等への通所により提供する。	・3クール実施 延べ200人		健康福祉局	地域包括ケア推進課
	⑥訪問型短期集中予防サービス	要支援1、2と判定された方、または65歳以上で豊齢力チェックリストにより事業対象者と判定された方に対して、通所でのサービス利用が難しい場合に看護師・栄養士・歯科衛生士等が介護予防を目的とした訪問を行う。	・利用者 5人 延べ訪問回数 12回		健康福祉局	地域包括ケア推進課

【3】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
その他の取り組み	①ホームページ等を活用した食の情報発信	市、区のホームページや、健康づくり情報コーナーを活用した、健康づくりや生活習慣病予防等、食に関わる情報発信	・市・各区のホームページの食育ページにて、食育関連情報や栄養成分表示の活用、おすすめレシピの紹介、関係機関へのリンク等の内容を掲載。随時更新。	○	健康福祉局 各区	健康政策課 家庭健康課
	②食育月間、健康増進普及月間行事、地域のイベント等を活用した啓発	市政だよりへの記事掲載、パネル展示、資料、レシピ、啓発物の配布等により、市民に広く啓発	・食育月間に合わせ、パネル展の開催。合わせて食に関する資料の配布を行った。食育月間パネル展 6回 ・食育の日に合わせ、庁内放送や資料配布を行った（庁内放送 延べ52回 資料配布数 2695部） ・健康増進普及月間事業におけるパネル展の実施（延べ4回 資料配布数 819） ・健康づくりイベント、区民まつり、地区まつり等での食育ブースの開設及び資料配布等による啓発（イベント開催 10回、来場者数 延べ3,085人）		各区	家庭健康課 保健福祉課
	③各市民センターにおける関連講座等の実施	児童・生徒、子育て世代から壮年期までのあらゆる世代、また男性を対象とした、食に関する講座や調理実習などを通して、健康的な食生活に対する興味・関心を深め、実践するきっかけ等を学ぶ講座を実施する。	・19館で24事業実施し、延べ2,930人が参加		教育局	生涯学習支援センター
	④食肉の生食等、食習慣の変化により増加している食中毒などを未然に防止するための情報発信	・インターネットホームページや市政だより、パンフレット等で広く市民に情報を提供する。 ・乳幼児健診時に子育て世代にパンフレットを配布したり、市政出前講座で説明することにより、特に重症化しやすい小さな子どもや高齢者をこれらの健康被害から守る。 ・市民向けの食品衛生講習会を実施する。 ・せんだい食の安全サポーター会議において、食品衛生情報を提供する。 ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動を実施する。 ・食品の安全性に関する市民向け講演会を開催する。	・市HPでの啓発 ・市政だより6月号に啓発記事掲載 ・パンフレットの作成と配布600部 ・市政出前講座（13回実施、243人受講） ・市民向け食品衛生講習会：50回、1669名 ・せんだい食の安全サポーター会議：3回実施 ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動6/15実施、4名参加 ・食品の安全性に関する市民向け講演会：1/27実施、111名参加		健康福祉局	生活衛生課
	⑤食で健康サポート店推進事業	食で健康サポート店（栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコメニュー）の参加店を増やす。市民に、食で健康サポート店参加店を紹介すると共に、栄養表示の活用方法を周知することで、食生活に関する情報を発信する。	・登録店舗数 91店舗	○	健康福祉局 各区	健康政策課 家庭健康課 保健福祉課

【重点分野4】生きる力を支える歯と口の健康づくり

【1】子どものむし歯の地域差、個人差の解消

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 乳児萌出期から学齢期までの連続したむし歯予防対策推進に向けた環境を整備する	①3歳児カリエスフリー85プロジェクトの推進 (乳歯の萌出期からの健康教育)	3歳児カリエスフリー85プロジェクト推進のため、8～9か月児乳歯健康診査において小児科医から「☆せんだい☆でんたるノート」配布し、乳歯の生え始め時期からの取り組みの重要性を啓発する。	【健康政策課にて実施】 ・3歳児カリエスフリー85プロジェクト推進に係る媒体作成及び保護者への配布 「せんだい☆でんたるノート」「協力歯科医療機関リスト」 「8-9か月のお子さんの保護者の方へ」各13,000部作成		健康福祉局	健康政策課
		育児グループ、児童館・児童センター、子育て支援室等との連携による歯科健康教育を行い、むし歯になりにくい生活習慣の確立と歯と口の健康づくりの実践を支援する。	・子育て支援センター：歯科保健教室…5回-132人 ・児童館等：歯科健康教育…4回-75人	青葉区	宮総保健福祉課	
			・健康教育 計3回110名 貝ヶ森児童館3名/おたまや幼稚園98名/北社のみらい保育園9名 ・他職種による健康教育(啓発) 計13回215名 支倉子育て支援センター6回82名/泉ヶ丘幼稚園プレ24名/台原児童館16名/ 八幡児童館6名/東六番町児童館25名/上杉児童館2回38名/中山児童館24名	青葉区	家庭健康課	
			・健康教育 2回 26人 (新田児童館 12人、立華認定こども園子育て支援センター14人)	宮城野区	家庭健康課	
			・歯みがき教室4回65人 (南小泉児童館16人、荒町児童館19人、南小泉保育所18人、 大和児童館12人) ・宅配講座3回172人 (聖和幼稚園108人、ニチキッズ仙台あらい保育園47人、 白萩集会所17人) ・サロン2回18人(蒲町保育所子育て支援センター)	若林区	家庭健康課	
			・健康教育 8回136人 子育て支援センター 3回48人、児童館・のびすく 3回42人 育児グループ等 2回46人 ・健康教育6回-45人	太白区	家庭健康課	
			・健康教育6回-45人	泉区	家庭健康課	
		小規模保育事業施設等を中心に乳歯萌出期からの歯と口の健康づくりの重要性を周知するとともに、カリエスフリー85プロジェクトを啓発する。	・啓発文書送付 97施設 小規模保育園31施設/保育ママ12施設/事業所内保育7施設/ 企業主導型保育10施設/認可外保育14施設/障害児施設3施設/ 児童館20施設	青葉区	家庭健康課	
			・管内小規模施設 14ヶ所(事業概要でんたるノート等配布) ・管内保育園(所)長会議 29名 ・管内小規模保育事業所長会議 17名	若林区	家庭健康課	
		1歳児歯科保健教室「歯ッピー教室」を実施し、むし歯予防と食事やおやつの話、歯科健康診査と仕上げみがきの練習、フッ化物体験等を実施する。	・5回-67人：コロナ1回(3月)中止	青葉区	宮総保健福祉課	
		「すくすく育児相談」等のなかで、歯科講話・相談を実施し、むし歯になりにくい生活習慣の定着を支援するとともに、乳歯萌出期からの、かかりつけ歯科医における定期健診や予防処置などを勧奨する。	・岩切すくすく育児相談2回23人 ・高砂すくすく育児相談2回32人 ・ミラクルキッズ 1回23人	宮城野区	家庭健康課	
		「母と子の健康相談」や「児童館等連携事業」を実施し、健康的な生活習慣の基盤づくりや望ましい生活習慣や歯科保健行動の定着を支援する。	・母と子の健康相談12回74人 (センター48人、七郷保健センター20人、六郷市民センター6人) <再掲>重点4【1】(1)①> 歯みがき教室4回65人 (南小泉児童館16人、荒町児童館19人、南小泉保育所18人、 大和児童館12人)	若林区	家庭健康課	
		幼児健診に従事する小児科医・歯科医他、多職種による懇談会においてカリエスフリー85プロジェクトの進捗状況等について情報を共有する。	・幼児健診懇談会他 3回-28人	青葉区	家庭健康課	
	・幼児健診懇談会 1回-36人	宮城野区	家庭健康課			
	・幼児健診懇談会他 4回-77人	若林区	家庭健康課			
	・幼児健診懇談会 1回-26人	太白区	家庭健康課 秋総保健福祉課			
	・幼児健診懇談会 1回-47人	泉区	家庭健康課			

	1歳児むし歯予防啓発（パースカード）を送付し、健康的な生活習慣や望ましい歯科保健行動を身に着けるための啓発を行う。	・20人へ送付		太白区	秋総保健福祉課
	「1歳の歯みがき教室」を実施し、むし歯予防と食事やおやつの話、歯科健康診査と仕上げみがきの練習等を実施する。	・11回-146人		泉区	家庭健康課
②子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業	児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	・教室実施10回95人（六郷児童館27人、南材児童館14人、蒲町児童館19人、沖野児童館25人、古城児童館10人） ・教室企画調整6回9人（大和児童館2人、運坊小路マイスクール児童館2人、沖野マイスクール児童館1人、若林児童館1人、遠見塚児童館2人、七郷児童館1人）	○	若林区	家庭健康課
③離乳食教室や乳幼児健診及び事後指導等における歯科保健指導	各種教室や乳幼児健診等での保健指導の充実を図り、むし歯発症リスクを減らす。 また、むし歯ハイリスク児への事後指導等で継続支援を行う。	・離乳食教室：5回-64人：コロナ1回（3月）中止		青葉区	宮総保健福祉課
		・離乳食教室11回198名 ・幼児健診 1.6-35回1392名/2.6-36回1342名/3.7-35回1413名 ・事後指導 1.6事後139名/2.6事後88名		青葉区	家庭健康課
		・幼児健診：1.6健診35回1605人、2.6健診33回1493人 3.7健診33回1530人 ・幼児健診歯科事後指導：1.6事後88人（文書81人、TEL7人） 2.6事後76人（文書74人、TEL2人）		宮城野区	家庭健康課
		・離乳食教室：254人 ・3-4か月児育児教室：1334人			
		・離乳食教室11回 175人 ・事後指導：1.6健診108人（文書指導108人）、 2.6健診227人（電話1人、文書指導226人）、 3歳児健診1人（電話1人）		若林区	家庭健康課
		・離乳食教室11回 239人 1.6健診-39回1883人 2.6健診-39回1772人 3歳児健診-41回1864人 幼児歯科健診事後指導 250人（1.6健診187人 2.6健診63人）		太白区	家庭健康課
		・1.6健診事後：文書173人・2.6健診事後：文書258人・3歳児健診：電話4人・ 幼児健診事後教室：2回-13人・泉すくすく相談：6回-35人		泉区	家庭健康課
④幼児健診におけるフッ化物応用の啓発	幼児健診や地域健康教育等でフッ化物に関する正しい知識の提供と活用法を周知する。	・幼児歯科健診59回1732人 *3月コロナ休止		青葉区	宮総保健福祉課
		・地域健康教育 <再掲：重点4【1】(1)①> ・幼児健診 <再掲：重点4【1】(1)③> ・離乳食教室 <再掲：重点4【1】(1)③>		青葉区	家庭健康課
		・幼児健診で啓発リーフ配布： 1.6健診35回1605人、2.6健診33回1493人、3.7健診33回1530人 <再掲：重点4【1】(1)③>		宮城野区	家庭健康課
		・1歳6か月児健康診査 26回 1012人 ・2歳6か月児歯科健康診査 26回 1063人 ・3歳児健康診査 26回 1053人		若林区	家庭健康課
		・健康教育 8回136人 <再掲：重点4【1】(1)①> ・離乳食教室 11回239人 <再掲：重点4【1】(1)③> ・幼児健診 119回5519人 <再掲：重点4【1】(1)③>		太白区	家庭健康課
		・1.6健診：32回-1360人・2.6健診：33回-1381人・3歳児健診33回-1481人 ・健康教育：6回-45人		泉区	家庭健康課
		・まめつこの会1回1名（個別対応） ・障害児施設歯科保健指導 6回92名 ・幼児歯科健康診査事後指導（文書教育・電話）-134人		青葉区	家庭健康課
⑤ハイリスク児及び保護者への健康教育	母子保健事業（地区支援者や要フォロー児の教室）や障害児施設等との連携により、ハイリスク児の保護者に向けた歯科保健の健康教育を実施する。	・幼児健診歯科事後指導：1.6事後88人（文書81人、TEL7人） 2.6事後76人（文書74人、TEL2人）<再掲：重点4【1】(1)③> ・障害児施設保護者への健康教育を実施 6回 122人（なかよし学園2回56人、あおぞらホーム2回31人、 田子西たんぽぽホーム2回35人）		宮城野区	家庭健康課
		・上飯田たんぽぽホーム 2回 延べ31人（実人数22人）		若林区	家庭健康課
		・障害児施設 3施設 6回90人		太白区	家庭健康課
		・幼児健診事後教室：2回-13人 ・障害児施設：2回-56人		泉区	家庭健康課

⑥保育所・幼稚園等歯科健康診査集約事業におけるフッ化物応用の啓発と利用促進	保育所・幼稚園・認定こども園への歯科健診結果還元にあわせて、フッ化物応用の啓発とフッ化物洗口実施施設への支援を継続する。	・55施設 保育所(園)36施設/幼稚園12施設施設/認定こども園7施設	○	青葉区	家庭健康課
		・17施設(保育所:12, 幼稚園:4, 認定こども園:1) (洗口実施施設:12, 洗口未実施施設:5)	○	青葉区	宮総保健福祉課
		・区内61施設 (保育所(園)38施設, 幼稚園18施設, 認定こども園5施設)	○	宮城野区	家庭健康課
		・管内保育所・幼稚園施設 46施設 ・歯科健診事後指導文書作成・配布 46施設	○	若林区	家庭健康課
		・管内68施設 (市立保育所11施設 私立保育所35施設 幼稚園16施設 認定こども園6施設)	○	太白区	家庭健康課
		・歯科健診結果還元:52施設—6350人	○	泉区	家庭健康課
⑦フッ化物洗口導入支援事業	フッ化物洗口を希望する保育所・幼稚園に対し、技術支援及び必要物品の補助を行う(研修会・説明会の開催等)フッ化物洗口マニュアルを活用し、円滑な導入と実施を支援する。	・新規申込2施設, ○訪問31回, ○職員研修2回14名 ・保護者説明会1回83名, ○保育所長会等1回10名	○	青葉区	家庭健康課
		・17施設(洗口実施施設薬剤管理:12, 洗口未実施施設打ち合わせ:5) 保護者研修:洗口実施施設2施設—33人	○	青葉区	宮総保健福祉課
		・フッ化物薬剤管理調査等訪問 44回 ・職員説明会 2回 3人	○	宮城野区	家庭健康課
		・新規施設 3施設(仙台保育園, 荒井マアヤ保育園, マザーズ・サンピア保育園) ・保護者説明会 6回 97人 ・職員説明会 4回 51人 ・実施調査等訪問 35回	○	若林区	家庭健康課
		・新規参加施設 2施設 ・職員研修会 2回13人 ・保護者説明会 1回40人 ・実施状況調査等訪問 37回	○	太白区	家庭健康課
		・洗口指導:3回 ・薬剤管理指導:36回	○	泉区	家庭健康課
⑧私立幼稚園・私立保育所・認定こども園フッ化物洗口事業継続実施補助金事業	フッ化物洗口導入支援事業に参加した施設を対象として、洗口開始2年目以降の継続実施にかかる費用の一部を助成する。	・私立幼稚園・認定こども園 交付園数…35施設, 参加児童数…4歳児1,421人 5歳児1,508人 ・私立保育所 交付園数…76園, 参加児童数…4歳児1,222人 5歳児1,433人	○	子供未来局	認定給付課
⑨市立保育所フッ化物洗口事業	市立保育所の4.5歳児を対象に、フッ化物洗口事業を実施し歯と口の健康を保ち、心や身体の健康づくりを図る。	・公立保育所36施設において、5歳児クラス、4・5歳児混合クラスにおいて実施した。実施人数は5歳児671人、4歳児638人	○	子供未来局	運営支援課
⑩市立幼稚園フッ化物洗口事業	市立幼稚園の年長児を対象に、フッ化物洗口事業を実施し歯と口の健康を保ち、心や身体の健康づくりを図る。	・市立幼稚園の年長児を対象に、フッ化物洗口事業及び2月に年中児の保護者を対象に洗口説明会を実施。	○	教育局	健康教育課
⑪保育士研修会、保育所長会、民間保育園長会、認定こども園施設長会における啓発事業	保育士や保育所長等を対象に歯科保健活動推進にかかる研修会等を開催する。	・公立保育所ブロック所長会9名 <再掲:重点4【1】(1)⑦> ・管内保育施設等施設長会議1名 <再掲:重点4【1】(1)⑦> ・公立保育所ブロック所長会で歯科講話を実施 1回6人	○	青葉区	家庭健康課
		・ブロック所長会議 1回 5人	○	宮城野区	家庭健康課
		・保育所長会等 3回88人	○	若林区	家庭健康課
		・保育所長会:1回—5人	○	太白区	家庭健康課
		・保育所長会:1回—5人	○	泉区	家庭健康課
⑫地域における学校懇談会の開催	保健所支所において、地域の学校関係者との懇談会を開催し、取り組みの方向性を共有する。	・学校保健懇談会 1回 29人	○	若林区	家庭健康課
⑬小学校における歯科保健活動の推進	学校保健に係る懇談会を通じて、学校関係者と取り組みの方向性を共有する。学校における健康教育の充実のため、啓発媒体を貸し出す。 歯と口の健康週間に合わせて、小学校での歯科健康教育を実施する。	・学校保健懇談会 1回 29人 ・媒体貸し出し 1回 (遠見塚小学校)	○	若林区	家庭健康課
		・馬場小学校にて実施 3回26名(児童18名, 教員8名)		太白区	秋総保健福祉課
⑭学齢期の歯と口の健康づくり推進	児童・生徒の健康課題や、青年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校や関係者と連携して実施できるよう、「学齢期の歯と口の健康づくりマニュアル」を製作する 児童・生徒の健康課題や、壮年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校と連携して実施する。 児童館に来館している児童を対象に歯科健康教育を行い、来館児童の口腔に対する健康意識を向上させるとともに児童館職員への啓発を図る。	・学齢期の歯と口の健康づくりマニュアル1500部作成 市内学校、学校歯科医、地域関係者へ送付 ダウンロード用資料を作成し、ホームページ等へ掲載	○	健康福祉局	健康政策課
		・鶴ヶ谷東小学校の就学時健診の子育て講座にて保護者向け歯科健康教育を実施。保護者 計32名参加 <再掲:重点1【1】(1)②>		宮城野区	家庭健康課
		・児童館 5施設307人		太白区	家庭健康課

	⑮学校歯科保健研修会の開催	養護教諭を対象に学校歯科保健における基礎的な研修会を開催する。	・新規採用、5年経験者、10年経験者の養護教諭を対象に研修を実施。内容は、歯科保健の最新情報、けがの応急手当等。	○	教育局	健康教育課
	⑯歯の衛生モデル校事業	歯の衛生モデル校における先進的な取組を市立学校に向けて紹介する。 (歯の衛生モデル校を3校認定)	・6月8日歯と口の健康週間市民のつどいにおいて、歯の衛生モデル校における取組を紹介した(活動資料の掲示、展示等)。歯の衛生モデル校を3校認定した。	○	教育局	健康教育課

【2】若い世代からの歯周病予防対策の強化と口腔機能向上の啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要(令和元年度)	事業実施状況(令和元年度)	環境改善・整備	担当局・区	担当課		
(1) 歯周病予防に向けたセルフケア知識、技術の獲得支援と専門的ケアの利用を促進する	①全国小学生歯みがき大会への参加	全国小学生歯みがき大会(主催:(一社)日本学校歯科医会)への参加校の小学5年生を対象に歯と口の健康づくりの啓発と歯間部清掃器具を使用した歯みがきの実践支援を行う。	・全国小学生歯みがき大会(主催:(一社)日本学校歯科医会)への参加校の小学5年生を対象に歯と口の健康づくりの啓発と歯間部清掃器具を使用した歯みがきの実践支援を行った(参加校31校)。		教育局	健康教育課		
			②歯肉炎予防対策モデル事業	地域保健とモデル中学校との連携により、中学生の歯肉炎予防を啓発する。	・広瀬中学校:情報共有のみ(学校保健委員会・子育て支援ネットワーク会議)	青葉区	宮総保健福祉課	
			③青年期における歯と口の健康づくり	専修学校、短期大学、高等専門学校、大学の健康教育において、就職活動前の学生を対象に口腔ケアの必要性の啓発と実践を支援する。	・若い世代の健康づくりニュースレター配付 専門学校26校 <再掲:重点1【1】(5)④> ・20歳のデンタルケア検診啓発リーフ配布 専門学校 6校 1310部 ・東北工大 大学祭にて啓発 1回100人 ・東北工科大学 学生対象歯科講話 2回240人		青葉区	家庭健康課
			④成人期の各種相談・教室の充実	成人市民を対象とした健康相談・教室において、歯と口の健康のセルフケア知識・技術を支援し、歯と口の自己管理能力の向上を推進する。	・地域包括支援センター職員研修参加1回 ・4回-78人 ・健康生活講座 歯科講話 1回 14人 ・健康教育 3回146人 国土交通省河川事務所 1回22人 シルバー人材センター 1回16人 宮城県年金受給者協会 1回108人		青葉区	家庭健康課
	⑤検診体制の整備	青年期の受診率向上に向けた20歳のデンタルケア事業の未受診者対策を進める。	妊婦歯科健診、20歳のデンタルケア事業、歯周病検診の精度管理の充実に努めるとともに、保健指導を強化する。	・特定健診・基礎健診(集団健診)での講話とパンフレット配布 2回188名 健康教育 1回18人	○	健康福祉局	健康政策課	
				・介護予防運動サポータースキルアップ研修2回-85人 ・健康づくり相談(歯科相談)-6人 ・給食従事者研修会1回-51人 ・泉病院友の会1回-7人	○	健康福祉局	健康政策課	
				・仙台市広報課Facebookにて情報発信 ・ポスター-2,500部作成 ・配付先:医療機関(医科・歯科)薬局、大学・専門学校等へ配布	○	健康福祉局	健康政策課	
		⑥口腔機能維持・向上の支援事業	70歳、75歳、80歳の方へ豊齢力チェックリストを郵送し、「口腔機能向上」に関する項目のセルフチェックを通じて啓発を行う。 事業者研修会等において、「介護予防口腔機能向上プログラム」を踏まえた高齢期の口腔機能維持・向上に係る啓発を行い、多職種連携で取り組みを推進する。	・特定健康診査(40~74歳の仙台市国保加入者)68,024人 基礎健診(35~39歳/75歳以上の市民)41,891人に 健診医療機関における事後指導の際に活用するリーフレットを配布	・豊齢力チェックリストを30,091人に送付 ・口腔機能の項目で基準より得点が上回った方に対し、必要に応じた介護予防等のサービスやケアを推奨した。		健康福祉局	地域包括ケア推進課
					・地域包括支援センター職員研修参加1回 ・4回-78人		青葉区	家庭健康課
					・台ヶ原岩切町内会女性部 1回19人 ・シルバー人材センター宮城野第3ブロック 1回16人		青葉区	宮総保健福祉課
						宮城野区	家庭健康課	

【3】生涯を通じた歯と口の健康づくり推進

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 生涯を通じた歯と口の健康づくり推進の体制整備を図る	①多様な手法を活用した分かりやすい情報の発信と普及啓発	ホームページ、フェイスブック、情報コーナー、歯と口の健康週間・歯と口腔の健康づくり月間等を活用した啓発を行う。	・歯と口の健康づくり週間・歯と口腔の健康づくり月間 情報コーナー/懸垂幕/デジタルサイネージ 啓発ポスター等送付・配付/市民図書館コーナー設置		青葉区	家庭健康課
			・歯と口の健康週間、歯と口腔の健康づくり月間 パネル展リーフ等配布 1479 庁内放送、横断幕掲示、案内ディスプレイ放映 児童館へ啓発ポスター配布、歯科媒体貸出 ・区内まつりでリーフ等配布 650 (高砂HCまつり 220、Mフェス280、区民まつり150)		宮城野区	家庭健康課
			・ホームページ更新 4回 (6月、11月) ・歯と口の健康週間：パネル展585 (リーフレット配布数)、 情報コーナー5ヶ所 150 (リーフレット配布数)、 小規模保育施設14ヶ所 (資料送付)、 幼稚園・保育園46ヶ所 (チラシ配布・ポスター掲示) ・歯と口腔の健康づくり月間：パネル展 1183 (リーフレット配布数)、 情報コーナー2ヶ所 520 (リーフレット配布数) ・健康フェスティバル：1回 130 (リーフレット配布数) ・健康情報コーナー：パネル展 2回 277 (リーフレット配布数)		若林区	家庭健康課
			・歯と口の健康づくり週間パネル展、ポスター送付等 ・歯と口腔の健康づくり月間パネル展等		太白区	家庭健康課
			・庁舎ロビーにて、歯と口の健康週間パネル展実施		太白区	秋総保健福祉課
			・歯と口の健康週間：パネル展-529人・ポスター等による啓発：94人 ・歯と口の健康づくり月間：パネル展-687人・健康増進普及月間：1回-245人 ・懸垂幕の掲示(11月)		泉区	家庭健康課
	②生涯を通じて「かかりつけ歯科医」を持つことの推進	母子保健事業や成人保健事業・介護予防事業において「かかりつけ歯科医」を持つことの重要性・必要性を啓発する。	・母子保健事業 <再掲：重点4【1】(1)①・③・⑥> ・成人保健・介護予防保健事業 <再掲：重点4【2】(1)③・④> ・啓発事業 <再掲：重点4【3】(1)①>		青葉区	家庭健康課
			・母子保健事業 <再掲：重点4【1】(1)②・④・⑥> ・成人保健・介護予防保健事業 <再掲：重点4【2】(1)④・⑤> ・啓発事業 <再掲：重点4【3】(1)①>		宮城野区	家庭健康課
			・若林区健康づくり区民会議推進部会 1回 (15名) ヘルスアップ通信 1回 1180 (発行部数) <再掲：重点4【1】(1)④> 1歳6か月児健康診査 26回 1012名 2歳6か月児歯科健康診査 26回 1063名 3歳児健康診査 26回 1053名		若林区	家庭健康課
			<再掲：重点4【1】(1)①・②・③>		太白区	家庭健康課
			<再掲：重点4【1】(1)④、【2】(1)⑤>		泉区	家庭健康課
	③かかりつけ歯科医機能の推進	歯科医療機関が参加する「3歳児カリエスフリー85プロジェクト」「妊婦歯科健康診査」「成人歯科健康診査」事前説明会等において、「かかりつけ歯科医機能」や市民の取り組みの支援の在り方を共有する。	【健康政策課、子供保健福祉課で実施】 ・妊婦歯科健康診査事前説明会：2回 373人 ・3歳児カリエスフリー85プロジェクト事業説明会：1回44人 ・3歳児カリエスフリー85プロジェクト学術研修会：1回55人 ・成人歯科健康診査事業説明会：1回 200人 新型コロナウイルス感染予防対策のため遠隔研修：264人	○	健康福祉局	健康政策課
			【区家庭健康課、支所保健福祉課、健康政策課、子供保健福祉課で実施】 ・歯と口の健康づくりネットワーク会議及びむし歯予防推進部会合同会議：1回 ・学齢期の歯と口の健康づくりマニュアル検討部会：1回	○	健康福祉局	健康政策課
④歯と口の健康づくりネットワーク会議及び各種推進部会の開催	保育所・幼稚園・学校・保護者・保健医療関係者等の参画を得て、幼児期から学童期の一貫した歯と口の健康づくりを推進するための実践に向けた検討と進捗管理を行う。					

【4】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) セルフケアが困難な方の歯と口の健康づくり推進の体制整備を図る	①障害児施設歯科健診事業	障害児通所施設において歯科健診と保健指導を実施している。施設が主体的に歯科保健活動に取り組めるよう、また、保護者が適切なホームケアやかかりつけ歯科医での定期予防管理を受けられるよう健康教育を行う。	・障害児施設歯科保健指導 6回92名 <再掲：重点4【1】(1)⑤> 立町たんぼぼホーム2回18名、西花苑たんぼぼホーム2回30名 なのはなホーム2回44名		青葉区	家庭健康課
			<再掲：重点4【1】(1)⑤> ・障害児施設で歯科健診・歯科保健指導・歯科講話を実施6回 122人 (なかよし学園2回56人、あおぞらホーム2回31人、 田子西たんぼぼホーム2回35人)		宮城野区	家庭健康課
			<再掲：重点4【1】(1)⑤> ・上飯田たんぼぼホーム 2回 延べ31人(実人数22人)		若林区	家庭健康課
			・3施設 6回90人		太白区	家庭健康課
			・2回—56人		泉区	家庭健康課
	②障害者施設歯科健康教育	障害者施設の職員を対象に歯科健康教育を実施し、施設における日常の歯科保健活動の推進を図る。	・障害者施設で歯科健康教育等を実施 つどいの家 1回18人		宮城野区	家庭健康課
			・上飯田たんぼぼホーム 2回 (健診結果を含め、通園する児の歯科保健行動をまとめた資料送付)		若林区	家庭健康課
			・健康教育 3回59人 ひまわりライフサポートセンター 1回15人 つどいの家アプリ 1回24人、おリーぶ太白 1回20人		太白区	家庭健康課
	③在宅医療関係者への研修会	ケアマネジャーをはじめとする関係者向け研修会において、口腔ケアや口腔機能維持向上の重要性や具体策を周知する。	【介護事業支援課、健康政策課で実施】 ・ケアマネジャー及び市民向け啓発チラシを配布：9450部 ・市民医学講座での情報提供：86人		健康福祉局	健康政策課

【重点分野5】大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

【1】喫煙に関する正しい知識の啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) たばこが及ぼす健康影響について啓発を行う	①たばこの健康への影響について正しい情報が得られるよう、多様な手法を活用した分かりやすい情報の発信と普及啓発	ホームページ、情報コーナー・健康づくり講座、イベント、世界禁煙デー・禁煙週間事業を活用した啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「世界禁煙デー」「禁煙週間」パネル展、啓発グッズの配布(195) 健康づくりキャラクターわかちゃんを用いた啓発 情報コーナー展示（庁舎、市内コミュニティセンター） 自動車学校、児童館等へのポスターやチラシの設置 パンフレット、ティッシュ配布による啓発（専門学校、民生委員児童委員協議会） ホームページ、市政だより、庁内放送による情報啓発 啓発ポップ（庁内各課、食堂、トイレ手洗い場） 標語と4コマ漫画でたばこをテーマとした作品の応募72作品（標語61作品、四コマ11作品） 衛生講習会（衛生課主催）にてポスター掲示、パンフレット配布 事業所にて、たばこに関する健康教育を実施 若い世代の健康づくりニュースレター6月号に受動喫煙の記事掲載（仙台市ホームページに記事データ掲載、専門学校26校に配布） パンフレット計968枚、啓発計755件 		各区	家庭健康課
	②喫煙防止教育の実施	学校・児童館等と連携した喫煙防止教育のを実施を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童館・児童センター 16か所、計709名へ防煙教育を実施 同時に児童の親4人にも防煙教育を実施 薬物乱用防止、防煙キャンペーンを11月17日に開催（仙台市教育委員会共催） 		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
	③大学や専門学校と連携した防煙教育	若い世代への健康づくり支援事業の一環として、専門学校で教職員や学生が自ら企画し、取り組めるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 区内の専門学校（4校）、短期大学・大学（5校）を訪問し、ポスターと区で作成した啓発用ティッシュの設置を依頼（啓発ポスター20枚、啓発ティッシュ420個） 東北工業大学電気電子工学科1年生115名、東北工業大学工学部情報通信工学科1年生125名、2回、計240名へ健康教育を実施 		泉区	家庭健康課
(2) 未成年者の喫煙を防止する環境づくり	①小中学校と連携した防煙教育	学校保健に関する懇談会を通し学校と連携し、スキル学習を取り入れた防煙教育実施の支援を行う。学校の要望により、アルコール、薬物乱用についても支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 防煙教育（薬剤師の講話） 小学1年生3校、中学1年生1校、計337名参加 		太白区	家庭健康課
	②両親教室での普及啓発	両親教室時に、たばこの健康影響や受動喫煙等のチラシの配布やミニ講話を実施し、パートナーが禁煙について考える機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> 母子手帳交付時・転入妊婦へのチラシ配布：8447枚 新米パパママ教室における受動喫煙に関する啓発89名 		若林区	家庭健康課
(3) 妊産婦や家族に対して、喫煙が及ぼす健康影響や再喫煙防止についての啓発を行う	①母子健康手帳交付時のチラシの配布	家族に禁煙について考えてもらう機会となるように、母子健康手帳交付時に受動喫煙についてのチラシを配布。	<ul style="list-style-type: none"> 新生児訪問指導の際、両親の喫煙状況に応じて、禁煙に関する情報提供 3～4か月児育児教室で集団指導時にパネルを用いて説明19件、啓発チラシの配布：2608名 		各区	家庭健康課
	②育児教室や新生児訪問での再喫煙防止の啓発	出産後に、再喫煙となる母親がいることから、自身へのたばこの健康影響と子どもへの受動喫煙に関して情報提供する。			各区	家庭健康課

【2】たばこをやめたい人への禁煙支援

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
たばこをやめたい人への禁煙支援	①禁煙支援医療機関と禁煙支援薬局の情報提供	情報コーナーや世界禁煙デーなどの事業を活用した情報提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者向け（健康教育依頼元の企業）に、たばこの害に関する健康教育を実施し、禁煙支援医療機関等の紹介実施：15名参加 個別相談にて、禁煙外来の案内：2名 世界禁煙デーにおけるパネル展及びフリーフレットの配布590名 禁煙支援医療機関一覧を作成し希望者へ配布 面接や電話にて情報提供2件 		各区	家庭健康課
	②個別禁煙支援	希望者に対し、面接や電話等により禁煙を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙指導件数：21件、延べ112回 禁煙相談件数：9件 		各区	家庭健康課

【3】受動喫煙防止対策の更なる推進

健康づくりの手法		取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1)	受動喫煙防止対策ガイドラインの周知を強化する	①受動喫煙防止対策施設登録制度	制度の周知をし、登録件数の増加を働きかけながら、より望ましい「禁煙」に取り組む施設の増加を推進する。	・受動喫煙防止対策の推進を目指し、平成27年9月より敷地内禁煙・建物内禁煙に取り組む「受動喫煙防止宣言施設」の登録制度を宮城県・全国健康保険協会宮城支部と共同で実施した。 ・令和元年度登録施設数 1,191施設（うち所在地が仙台市 642施設）	○	健康福祉局	健康政策課
(2)	事業所に向け受動喫煙防止対策ガイドラインの啓発を行う	①受動喫煙に関する取り組みを行う企業への支援	受動喫煙防止対策ガイドラインの周知や、企業が取り組むべき方策について支援する。	・自動車学校1校、民間企業1社に対して、社内の受動喫煙防止策検討方法について支援を実施	○	宮城野区	家庭健康課
		②受動喫煙防止に配慮した公園の環境整備	快適で健康的な公園を目指し、看板等による喫煙マナーの向上や、受動喫煙防止の広報・啓発を行う。	・花京院緑地に受動喫煙防止啓発の看板を設置	○	青葉区	公園課

【重点分野6】日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

【1】定期予防接種の接種勧奨

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 接種対象者に対する積極的な接種勧奨	①集団接種事業(BCG)	市政だよりやホームページで周知し、通年で保健福祉センター等を会場に実施。	・BCG [7,397 (95.4%)] * [接種件数 (接種率)] ・会場・日程について市政だよりと仙台市ホームページにて周知		健康福祉局	健康安全課
	②個別接種事業	母子手帳交付時に周知し、新生児訪問や4か月育児教室等の機会に接種勧奨する。 学齢期の対象者には、保護者あてにお知らせのチラシを配付する。 特別対象者の予防接種は、個別通知をする。	・DPT-IPV [31,912]、DPT [1]、DT [6,918 (74%)]、IPV [12]、 日本脳炎 [37,943]、MR1期 [8,085 (95%)]、MR2期 [8,310 (95%)]、 ヒブ [30,493]、小児の肺炎球菌 [31,384]、HPV [253]、水痘 [16,135]、 B型肝炎 [23,112]、高齢者インフル [138,810 (55%)] 風しん5期 (成人男性) [4,263] (H31.3.15 開始) * [延接種数 (接種率)] ・母子手帳交付時、母子手帳別冊(乳幼児編)個別送付時、新生児訪問や4か月育児教室、1歳半健診時等に接種勧奨実施 ・小学3年生あて小学校を通して日本脳炎第2期お知らせを配付。 ・小学6年生あて小学校を通して二種混合お知らせを配付 ・18歳あて日本脳炎第2期特例接種個別通知実施(R01.7:約9,600通)		健康福祉局	健康安全課
	③高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業	接種対象者あて個別通知をする。 市政だよりやホームページで周知する。	・高齢者肺炎球菌定期接種件数 [5,728] * [接種者数] ・65歳あて高齢者肺炎球菌個別通知実施(H31.4:約12,300通) ・市政だよりお知らせ掲載(10月号、3月号)		健康福祉局	健康安全課
	④おたふくかぜ予防接種費用助成事業	1歳6か月健診のお知らせ送付時に接種対象者あてのお知らせのチラシを配付する。	・おたふくかぜワクチン [7,974] * [接種者数] ・1歳6か月健診のお知らせ送付時に接種勧奨のお知らせを配付。		健康福祉局	健康安全課
	⑤予防接種登録医療機関研修会	予防接種登録医療機関あて仙台市予防接種事業の円滑な実施に向けた研修会を開催する。	・予防接種登録医療機関研修会 7月2日・7月18日開催(仙台市急患センター)		健康福祉局	健康安全課

【2】感染症に関する正しい知識の普及・啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和元年度）	事業実施状況（令和元年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 感染症に関する正しい知識の普及啓発	①感染症流行期に合わせた啓発	社会福祉施設・学校・保育所等へ啓発資料の送付や来庁者及び職員等への啓発・注意喚起	・庁舎内に感染症関連のポスターを掲示	○	青葉区	管理課
			・来庁者及び職員へ咳エチケットマスク配布(1,400枚) ・職員に対して嘔吐物処理研修実施(23名) ・庁舎内に感染症関連ポスター掲示、情報コーナーでチラシ配布 ・庁舎入口に手指消毒用ジェル配置	○	若林区	管理課
			・庁舎内に感染症関連のポスターを掲示	○	泉区	管理課
	電子媒体・市政だより等による啓発	手洗いスタンドの貸し出し	・インフルエンザ予防啓発ポスター (市内医療機関、保育施設、幼稚園、学校等約2,077部)配布	○	健康福祉局	健康安全課
			・仙台市ホームページに感染性胃腸炎の集団発生の情報を掲載 ・インフルエンザ等感染症の流行状況に合わせたメール配信等 ・市政だよりに麻しんに関する注意啓発の記事を掲載	○	健康福祉局	健康安全課
			・手洗い評価スタンドの貸出 32施設 (延52台)	○	青葉区 若林区 太白区 泉区	管理課
		・市政だより、ホームページに啓発記事を掲載 45施設	○	宮城野区	管理課	

②結核予防週間に合わせた結核の予防啓発事業	市政だより、ホームページ等による啓発 区役所におけるパネル展示やパンフレット、ポスター等の啓発 資材の配布	庁舎における啓発 ・庁舎内でパネル展を実施（全区） ・懸垂幕を掲出（青葉区、太白区） ・案内ディスプレイ放映を実施（宮城野区、泉区） ・庁内放送を実施（若林区、太白区、泉区）	○	各区	管理課
		広報物による啓発 ・市政だよりに啓発記事を掲載（宮城野区、若林区、太白区、泉区） ・ホームページに啓発記事を掲載（宮城野区）	○	宮城野区 若林区 太白区 泉区	管理課
		来庁者等への啓発物配布等 ・パンフレットの配布（宮城野区、若林区、太白区、泉区） ・咳エチケット啓発用マスク配布（若林区） ・外国語版パンフレットを配布（若林区） ・庁舎内トイレにミニチラシを掲示（泉区） ・啓発ティッシュを配布（泉区）	○	宮城野区 若林区 太白区 泉区	管理課
		・ホームページに啓発記事を掲載 ・市民センター、公所等へパンフレット、ポスター等を配布	○	健康福祉局	健康安全課
	高齢者の結核リスクについて、高齢者および介護従事者等への 正しい知識の提供	・介護事業支援課主催の高齢者施設対象研修会での資料配布 ・介護支援専門員研修会での講話及び資料配布(1,500部)	○	健康福祉局	健康安全課
	職員向けの情報提供	・地域包括支援センター連絡会議にて出席者20名に対し、介護サービス利用 結核患者の自宅退院に向けた連携について、事例を交えて講話を実施	○	青葉区	管理課
		・案内ディスプレイ放映を実施（宮城野区、泉区） ・庁内放送を実施（若林区、太白区、泉区） ・庁舎内トイレにミニチラシを掲示（泉区）	○	宮城野区 若林区 太白区	管理課
		・庁内会議での講話(1回 23名参加)	○	太白区	管理課
		・庁内LAN掲示板に啓発記事を掲載 ・庁内関係部署へパンフレット、ポスター等の配布	○	健康福祉局	健康安全課
	③結核予防週間以外(通年)で 実施する結核の予防啓発事業	職員、医療従事者等への情報提供	・結核指定医療機関等の医療従事者に対する研修会を実施(217名参加)	○	健康福祉局
公衆衛生関係学生実習における情報提供		・保健所実習看護・福祉系学生、臨床医師研修等で結核についての講話を 実施	○	各区	管理課
		・結核診査部会に参加した医学部学生、研究生に対し、結核についての講話 を実施	○	健康福祉局	健康安全課
高齢者の結核リスクについて、高齢者および介護従事者等への 正しい知識の提供		・ヘルパー事業所(1施設2回開催 講話40名資料提供80名)へ結核その他感染 症についての講話を実施	○	青葉区	管理課
		・シルバーフェスティバルで啓発ティッシュを配布(1,000個) ・市民センターまつりで啓発マスクを配布(400個)	○	宮城野区	管理課
		・町内会等対象の市政出前講座等にて結核基礎知識に関する講話を実施 (1回24名) ・地区民児協にて結核基礎知識に関する講話を実施(12回)	○	太白区	管理課
		・介護事業支援課主催の高齢者施設対象研修会・介護支援専門員研修会での 講話及び資料配布(1,500部)	○	健康福祉局	健康安全課
結核リスクについて、日本語学校等留学生及び技能実習生に対 する正しい知識の提供		・日本語学校・専門学校等(4校 671名)に対し健康教育を実施	○	青葉区	管理課
被災世帯への情報提供	・ヘルスアップ通信掲載による被災世帯への情報提供(4290部)		若林区	管理課	

④HIV検査普及週間および世界エイズデーに合わせた予防啓発	市政だよりやホームページ、横断幕等による情報発信や、各所でのパネル展示を実施し啓発する。	庁舎内における啓発 ・庁舎内にポスター等を掲示（青葉区、若林区） ・パネル展示（宮城野区、太白区） ・庁内放送を実施（宮城野区、若林区、太白区） ・コミュニティビジョンに啓発記事掲示（太白区） ・パンフレットの配布（宮城野区、若林区、太白区） ・啓発ティッシュの配布（若林区、太白区）	○	青葉区 宮城野区 若林区 太白区	管理課
		広報物による啓発 ・市政だよりに啓発記事を掲載（宮城野区、若林区、太白区） ・ホームページでの情報提供（太白区）	○	宮城野区 若林区 太白区	管理課
		・仙台医療センター健康まつりでのパネル展示、クイズ・対話形式での啓発（クイズ参加者360名）、パンフレットの配布 ・管内JRの駅にポスターを掲示(5か所) ・自衛隊駐屯地への啓発(ポスター掲示) ・陸上競技場へのポスター掲示 ・中央市民センター、文化センターへのポスター掲示 ・管内事業所へ啓発用パンフレット、検査啓発チラシ送付(100か所) ・啓発横断幕を掲示し、検査のPRを実施 ・専門学校、高校に啓発用ポケットティッシュ配布（500個）	○	宮城野区	管理課
		・ヘルスアップ通信への掲載(4920部) ・商業施設にポスター掲示、検査案内カード配布 ・市民センター、のびすくに検査案内カード入りポケットティッシュ（80個）配布	○	若林区	管理課
		・年2回学校での啓発活動を実施 大学(4)、短大(2)、専門学校(4)でパネル展示、ポスター展示、パンフレット、検査日程入ティッシュ2,000個2回配布	○	泉区	管理課
⑤青少年に向けたエイズ・性感染症予防啓発		・市政だより掲載 ・ホームページでの情報提供 ・地下鉄駅イベントボードへのポスター掲出(5月：2週間、11月：3週間) ・地下鉄車内広告(11月：1ヶ月間) ・仙台駅西口地下道内照広告設置 ・商工会議所メール配信サービスでの配信(5月、11月：約2,000社) ・医療機関・中学校・高校・大学・各種専門学校・事業所・その他関係機関へのポスター・チラシ・検査カード配布(5月、11月：約1,200ヶ所) ・河北新報ホームページへのバナー広告掲出(11月：3週間) ・ラジオ放送でのエイズデーイベント・即日検査会告知(5月、11月) ・宮城県との共催による世界エイズデーキャンペーン(11月25日：エイズ啓発ライブ会場における啓発グッズ配布、11月28日：情報番組のイベントPRコーナーに出演し、検査会をPR。仙台駅構内における啓発グッズ配布、11月30日：仙台駅構内におけるステージイベント・啓発グッズ配布) *啓発グッズを合計5,500個配布) ・青葉区民祭りでの啓発 ・NPOと協働し「仙台HIVネット」へのHIV検査広報、ツイッターによる広報、MSM向けスマートフォンアプリへの広告掲出、商業施設への啓発資材配布 ・ZELコミュニティー紙への検査情報掲載 ・梅毒の増加について啓発チラシを作成、区役所等で配布	○	健康福祉局	健康安全課
	中高生を対象にした啓発を開催	・「のびすく泉中央」で中高生対象に啓発パンフレット・ティッシュの配布(200枚)	○	泉区	管理課
	成人式での啓発	・「交流広場」にて健康政策課と共催でブース展示 啓発グッズを合計600個配布	○	健康福祉局	健康安全課
	高校、専門学校、大学の文化祭や大学生検診の際にブース等を設置し、啓発のためのポスター掲示、パンフレットやティッシュの配布を実施	区内大学、短期大学、専門学校の学生に対する啓発 ・区内大学9校に、4月～5月学校健診の時期及び世界エイズデーに合わせた11月の年2回、パンフレット、啓発ティッシュ2,000個を配布（青葉区） ・区内短大祭、区民まつり、市民センターまつりにてポスター展示、パンフレット(30枚)ポケットティッシュ(200個)コンドーム(30個)検査案内カード(190枚)、啓発用メモ帳(30個)を配布（若林区） ・区内大学・短期大学・専門学校へのポスター・パンフレット等の配布・設置依頼(13校14キャンパス、延300部)（太白区） ・管内大学生協2か所と連携して大学生協まつり等でパンフレット配布(200枚)（泉区）	○	青葉区 若林区 太白区 泉区	管理課
	施設入所中の中学生へのエイズ・性感染症健康教育の実施	・思春期保健・エイズ性感染症健康教育(中学生12名、先生6名)	○	太白区	管理課

		高校生へのエイズ予防教育の実施	・高校生へのエイズ予防教育(2校3回105名)(宮城野区) ・高校1年生に対するエイズ予防健康教育(62名)(若林区) ・高校文化祭でのポスター・パンフレット配布ブース設置	○	宮城野区 若林区 太白区	管理課
		専門学校生へのエイズ・性感染症健康教育の実施	・エイズ・性感染症予防パンフレット、啓発ティッシュの配布(3校600個) ・ニュースレター(若い世代の健康づくり事業:青葉区家庭健康課)にエイズ・性感染症予防の啓発記事掲載	○	青葉区	管理課
		公衆衛生関係学生実習における情報提供	・保健所実習看護・福祉系学生、臨床医師研修等でエイズ・性感染症予防についての講話を実施	○	青葉区 宮城野区 若林区 泉区	管理課
	⑥週報・月報の公表	市民向けに区役所内に情報を掲示したり、医療機関への情報提供	・庁舎内に毎週、仙台市感染症発生動向調査情報(週報)を掲示	○	青葉区	管理課
	⑦健康危機管理研修	職員を対象にした研修の実施	・新型インフルエンザ対策の講義・訓練等 9回 (青葉区、若林区、太白区、泉区) ・鳥インフルエンザ発生時の対応・健康調査等に関する研修 6回(全区) 内1回は県と市の合同訓練(太白区) ・新型コロナウイルス感染症対策の講義 1回36名参加(青葉区) ・PPE(個人用防護具)着脱訓練 3回(青葉区、太白区、泉区) ・健康危機管理感染症実働班訓練(年1回:6/26研修会)(宮城野区) ・健康危機管理研修会 母子保健係幼児健診担当向け吐物処理実習(1回14名参加)(太白区) ・感染症対策職員研修(1回 18名)	○	各区	管理課
	⑧感染症予防に関する健康教育	学校、社会福祉施設等(集団感染が発生しやすい施設)対象の感染症講習会の開催	・日本語学校等4校(7回)671名に対し健康教育を実施 ・ヘルパー事業所(1施設2回開催 講話40名資料提供80名)へ結核その他感染症についての講話を実施 ・生活衛生同業組合の研修会にて2日間計175名に対し、感染症・インフルエンザに関する講話を実施 ・介護施設職員15名に対し吐物処理研修を実施 ・吐物処理研修(保育園1か所、児童館1か所) ・手洗い研修(児童館1か所、事業所1か所、町内会1か所) ・ノロウイルス等感染症対策研修会2回(高齢者施設・旅館等:43施設 66名参加、保育施設・児童福祉施設等:47施設 51名参加) ・社会福祉施設・幼稚園・保育所職員2回83名に感染性胃腸炎に関する研修会を実施(手洗い、吐物処理実習) ・感染症講習会(社会福祉施設2回64名)	○	青葉区	管理課
				○	宮城野区	管理課
				○	太白区	管理課
				○	泉区	管理課
(2)	感染症に関わる検査の実施	①HIV検査相談事業	各保健所及びその他の会場にて、異なる曜日や時間帯を設定して匿名・無料のHIV検査・相談を実施する。その日のうちに結果がわかる即日検査を月3回開催する。			健康福祉局 健康安全課
		②性器クラミジア検査事業	青葉区役所の夜間HIV検査会場にて、同時に開催する。			健康福祉局 健康安全課
		③梅毒検査事業	各区及びその他の会場において実施する、HIV検査会場にて同時に開催する。			健康福祉局 健康安全課
		④肝炎ウイルス検査	これまで検査をしたことがない人を対象にした無料肝炎ウイルス検査を実施する。			健康福祉局 健康安全課
		⑤肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業	肝炎検査の結果陽性だった者に対し、フォローアップアンケートを実施し医療機関受診状況を把握する。必要時、未受診者への受診勧奨を行う。			健康福祉局 健康安全課
		⑥風しん抗体検査助成事業	風しん抗体検査の費用助成			健康福祉局 健康安全課
		⑦HIV検査相談を受けやすい環境整備	検査を受けた方からのアンケート結果を参考に、より安心して相談・検査を受けられるような環境を整備する。			健康福祉局 管理課
			・検査を受けた方からの「抗体検査を受けた感想・検査をためらっている方へのメッセージ」を、仙台市ホームページに掲載(了解をいただいたもののみ)			宮城野区 管理課
			・即日検査の会場(2会場)にて、受検者にアンケートへの協力を依頼。約1,100枚を回収し、分析を実施した。			健康福祉局 健康安全課

2. 仙台市保健所支所の取り組み

青葉区保健福祉センター（令和元年度 事業報告）

1. 令和元年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・市民協働で作成した常備菜レシピ集を用いて、主催事業及び市民センターとの共催事業にて講座を実施。更なる地域への普及啓発をねらい、関係機関や地域団体等へPRを行った。
- ・専門学校を対象に健康づくりをテーマとしたニュースレターを発行(年2回)。若い世代の健康づくり事業として「健康づくりコンテスト『標語』『4コマ漫画』」を専門学校と連携し、平成29年度から継続して実施。
- ・小学校へ地域課題を情報提供する等連携を深め、保護者参観の場を活用した親子を対象とした生活習慣病予防の講座を実施した。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・平成25年度より精神保健福祉啓発事業として区内専門学校の教職員を対象とした勉強会を実施。令和元年度は区内専門学校教職員を対象とした青年期メンタルヘルス勉強会を実施し、6校10名参加。
- ・地区健康教育や各種会議や研修会などの機会に「こころの健康づくり」に関する普及啓発に取り組んだ。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・手軽な「だし」の取り方など体験型の健康教育を子育て世代、働き世代に実施し、食育・減塩について啓発。
- ・地域で食育に関わる関係者のネットワークづくりや情報交換の場になるよう、食育情報交換会を開催。
- ・市民センター、児童館と連携し、子育て世代を対象とした健康的な食生活について講座を実施。
- ・栄養成分表示の義務化に伴い、表示の活用について地区健康教育等の場で市民に啓発。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・新設の保育施設に対しても、フッ化物洗口導入支援事業及び歯科健康診査結果集約事業を実施。
- ・高齢者に対しては、介護予防口腔機能向上プログラムを意識した地区健康教育を、乳幼児の保護者に対しては、児童館、子育て支援センター等で、3歳児カリエスフリー85を目指した歯と口の健康づくり講座を実施。対象の特性に合った「歯と口の健康づくり」の普及啓発ができた。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・受動喫煙に関する啓発を妊産婦・子育て世代をはじめ各世代に向けて実施。
- ・母子保健事業を通じ、新型たばこを含む基礎的な正しい知識の啓発を行った。
- ・地区健康教育の年間重点テーマを受動喫煙防止と設定したことで、たばこの健康影響や健康増進法の改正等について周知啓発できた。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・結核発症リスクの高い外国人や高齢者を対象とし、日本語学校等と地域包括支援センター職員向けに結核に関する健康教育を実施。
- ・区内大学、専門学校と連携し、HIV・性感染症等の知識や予防についての啓発を行った。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・養護教諭との懇談会を開催し、各機関の役割や健康課題、今後の連携方法についての情報共有。
- ・飲食店営業や菓子製造業を対象とした衛生講習会において、健康講話や啓発物の展示を実施。
- ・各課で専門学校等へアプローチしていたことを把握し、課を越えて情報共有、連携を開始。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・保健福祉センター内の連携及び多職種連携のもと、地区保健活動(中学校区毎に地区情報の集約、課題の明確化と解決に向けた保健活動の実施)の体制を整え、地域の健康づくりを推進する。
- ・社会環境の整備を進めるために、地域団体及び関係機関、部署と連携した更なる取り組みが必要である。

宮城野区保健福祉センター（令和元年度 事業報告）

1. 令和元年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・市民健診・特定健診の受診率向上を目指して、区保険年金課窓口、各種母子保健事業、復興公営住宅等において健診受診勧奨ポスター等の設置及び声かけを実施し、あらゆる場面で啓発を行った。
- ・学齢期の健康づくりとして、小学校や児童館等と校区別の健康課題を共有し連携の動機付けを図った。また、小学校や児童館で健康教育を実施し、児童や保護者に健康づくりを推進した。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・被災者支援として浸水地域の訪問を重点的に実施し、健康支援や介護予防に努めた。また復興公営住宅等で健康相談会を開催し、心身の健康について啓発を行った。
- ・震災ストレスによるメンタル面でのハイリスク者への個別支援、宮城県健康調査を活用したハイリスク予備群への個別訪問、運動を通じたコミュニティ支援を継続実施した。
- ・関係機関との連携強化のため、支援ネットワークを密にする取り組みを実施した(事業所・包括等)。
- ・若い世代や働き盛り世代への啓発として、専門学校・自動車学校・理美容組合等へ心の健康に関する健康教育や啓発グッズの配布を行った。また、特定健診問診項目において睡眠に問題がある 40～50歳代の働き盛り世代へパンフレットを送付した。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・若い世代(専門学校)を対象とした食育啓発、20歳の健診受診(子宮頸がん・歯周病)啓発を継続した。
- ・望ましい食習慣形成のため児童館と連携し、幼児と保護者、児童に向けた体験型の食育教室を実施。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・母子保健システムのデータを分析し、校区毎の特徴を「見える化」したことで、関係各所および多職種と情報共有でき、むし歯予防等、歯と口の健康づくりを通して、生活習慣の見直しを図るとともに、全身の健康づくりの必要性を共有した。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・自動車学校へ禁煙デーポスター、ちらし・ティッシュ等を設置し、幅広い世代への受動喫煙防止に関する啓発を実施した。
- ・禁煙を希望する区民に対し、禁煙相談を実施。児童館等へも禁煙相談のちらしを設置し、働き盛り世代への周知をすすめた。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・感染症発生時や健康教育等において感染症予防・拡大防止の啓発を行った。
- ・HIVの知識や予防行動の啓発・検査の周知を行うため、区内の高校で健康教育を実施した。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・生涯を通じた健康支援のためには健康関連情報の一元化が必要。現在教育局が把握している児童生徒の健康情報と健康福祉局の各種データを効果的に活用できる仕組みが必要。第一歩として管内の小中学校の「学校保健員会」への参加や、学校訪問を行い情報の共有を図った。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・幼児健診や特定健診等のデータから把握できた学区ごとの地域特性・健康課題等の活用方法と、課題解決のために地域の各関係機関と情報共有を図るための関係構築。
- ・地域の健康課題にあわせた保健活動の推進。

若林区保健福祉センター（令和元年度 事業報告）

1. 令和元年度事業の取り組みの概要

平成 30 年度明らかにした当区の健康課題に基づき、課題解決のための指標をライフステージ毎に示し、若林区健康づくり区民会議の場で共有を図った。その中で、高血圧予防、減塩をテーマに「高血圧が体に与える影響」「具体的な減塩方法」について健康教育やイベントを通じ幅広く啓発した。また、健康課題の大きい六郷地区の解決の一步として、地区関係団体と課題の共有を図り、令和 2 年度の取り組みに向け具体的な意見交換を行った。

重点分野 1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・高血圧予防、減塩をテーマとした啓発
商業施設・おまつり等のイベントでの啓発（3 回 1,280 人） 健康教育（17 回 413 人）
定期的な健康講話（5 回 56 人）と健康相談（10 回 9 人）
- ・ヘルスアップ講座（特定健診事後指導）（3 回 延 58 人）
- ・介護予防運動サポーター養成講座（5 回 実 21 人、延 82 人）
- ・介護予防運動サポータースキルアップ研修（5 回 延 132 人）
- ・シニア世代向け健康づくり講座（五十人町地区にて 8 回 実 17 人 延 64 人）
- ・地区担当保健師が区内 18 か所の介護予防自主グループに延 30 回参加し、活動の後方支援、要望があれば健康教育を実施した。

重点分野 2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・こころの健康相談（25 回 35 人）
- ・支援者のスキルアップのためのアルコール関連問題事例検討会（4 回 延 42 人）
- ・被災者こころのケア個別支援件数（延 1,614 件）
- ・自殺予防週間・自殺対策強化月間（9 月・3 月）におけるパネル展示、復興公営住宅入居者等へのヘルスアップ通信の配布、区内大学に心の啓発リーフレットを配布（100 部）
- ・地区民生委員児童委員協議会（9 地区）において、自殺対策強化月間に合わせてゲートキーパーについて啓発
- ・復興公営住宅・防災集団移転地域サロン（49 回 621 人）

重点分野 3 健康な心と身体を支える食生活

- ・幼児健診において、肥満度 15%以上の肥満児を対象に個別栄養指導を強化
実施率：1 歳 6 か月児健康診査（H30：80%⇒H31：98%）3 歳児健康診査（H30：93%⇒R1：96%）
- ・子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業（5 施設 10 回）

重点分野 4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・フッ化物洗口導入支援事業（26 施設）
- ・子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業（5 施設 10 回）

重点分野 5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・防煙教育：小学校：3 校 中学校：1 校（延 373 人）
- ・世界禁煙デー及び禁煙週間におけるパネル展示、リーフレットの配布

重点分野 6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・感染症患者・接触者の管理、感染症の啓発予防・情報提供、相談・カウンセリングの実施
- ・エイズの予防教育：高校（1 回）実施、学校保健懇談会での情報提供による啓発等

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

※若林区の区民協働で取り組む健康づくり

- ・若林区健康づくり区民会議（2 回） 推進部会（1 回） 健康づくり寸劇（4 演目 9 回）
- ・健康づくりフェスティバル（延 2,038 人） 実行委員会（5 回）

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・当区の健康課題を可視化し、本格的に住民や関係機関に発信していく必要がある。そのためには、地区担当保健師や栄養士、歯科衛生士等の専門職種と目的の共有を図る必要がある。
- ・健康課題の大きい六郷地区において、課題解決のための取り組みを進めていく必要がある。関係機関との意見交換からでた具体的な課題解決のための取り組みについて精査し、事業化を図る必要がある。

太白区保健福祉センター（令和元年度 事業報告）

1. 令和元年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・市国保特定健診等で要指導・医療となった方への訪問（63件）と個別健康相談（実33人、延36人）。
- ・特定・基礎健診結果、HbA1c5.6～6.4%該当者対象に健康講座を3回コースで実施（実42人、延75人）。
- ・商業施設で健康づくり関連パネル展を実施（3回：禁煙、健康づくり、自殺対策・女性の健康づくり）。
- ・甘味飲料等の糖質量に関する媒体を作成し幼児健診や健康教育等で啓発。媒体の貸し出し実施（秋保）。
- ・地区まつりやスポーツイベントで血管年齢測定や簡易体力測定を行い、生活習慣改善を啓発（秋保）。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・「太白こころささえちゃん事業（衛生課・障害高齢課との連携事業）」：理美容講習会（2回 149人）。
- ・被災者の孤立防止・機能低下防止を目的に、復興公営住宅の自治会で実施する運動教室（あすと長町）、サロン活動（あすと長町第2、あすと長町第3、茂庭第2）を継続支援。
- ・介護予防運動サポータースキルアップ研修での心の健康講話の実施（3回 142人）。
- ・地域の見守り体制の強化、地域で支えあう具体的な方法に関する意見交換会の開催。
 - 1) 認知症と暮らす地域づくり事業：3地区対象、4回開催、208人参加
地域包括支援C、地区社会福祉協議会、障害高齢課の共催。普段からできる見守り活動の意見交換。
 - 2) 地域における支え合い体制づくりのための勉強会：1地区対象、80人
町内会長、老人クラブ、介護予防自主グループ等参加。講話とパネルディスカッション。
 - 3) 太白区高齢者障害者地域会議：1回、44人
地域支援関係者が参加。障害者・認知症家族の講話の他、災害に備えるワークショップを実施。
- ・高齢と障害の分野の連携を図りつつ、地域住民により近いところで相談できる環境づくり。
 - 1) 出張相談：3地区。スーパー、コミュニティ・センター、地区集会所で定例開催。
 - 2) よりそいワーキング：介護保険と障害福祉サービスをまとめたパンフレットの作成（300部）。
- ・喪失体験からの回復をテーマに「こころの健康づくり講演会」を地区社協と共催（36人）（秋保）。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・関係機関の食育担当者を対象に取組事例報告や意見交換ができる研修会を開催（49施設51人）。
- ・「モーベジ！」のロゴを活用し、幼児健診やHP等で啓発（モーベジガイド配布2,187部）。
- ・管内の学校・保育所栄養士の連絡会を開催し、食育活動や健康課題等について共有。管内学校、秋保食生活改善推進員会等が作成した活動紹介パネルを秋保・里センターでの食育活動展等に展示（秋保）。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・幼児健診時や児童館等でかかりつけ歯科医について啓発。かかりつけ歯科医を持つ家庭は、1.6健診31.5%、2.6健診53.7%、3歳児健診64.2%と前年度より増加している。
- ・特定健診、基礎健診の場や介護予防自主グループ、管内小学校で健康教育を実施（秋保）。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・児童館や大学での防煙教育、母子保健事業の中で受動喫煙等について啓発。
児童館：5館、307人、大学2回 240人、母子保健事業での啓発：1,822人
- ・個別禁煙相談（禁煙チャレンジャー）を月1回実施（利用者7人）。
- ・禁煙週間にパネル展示や関係機関の会議等で禁煙相談や禁煙治療等について啓発（秋保）。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・結核予防週間、世界エイズデーに合わせ、ポスター等を掲示。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・特定健診結果でメタボ該当者の多い地域を対象地区として、町内会等が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、町内会連合会会長等の関係機関への働きかけを実施。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・生活習慣病の重症化予防の推進に向けては、事業所や学校との連携が重要であり、様々な機会を捉えて情報発信を続けていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出自粛等により高齢者のADLの低下や生活不活発病、地域からの孤立等が懸念される。特に復興公営住宅入居者の健康支援を丁寧に行う必要がある。

泉区保健福祉センター（令和元年度 事業報告）

1. 令和元年度事業の取り組みの概要

重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・地域包括支援センターや健康増進センター、社会福祉協議会との協働により、地域住民を対象とした糖尿病予防教室を実施した。また、地域包括支援センター圏域会議において特定健康診査結果から泉区や地域の健康リスクについて情報提供した。
- ・市民センターや地区社協が主催する子育て世代のイベントにおいて、保護者を対象に働き盛りの健康管理及び生活習慣病予防の啓発を行った。
- ・国民健康保険特定健診や基礎健診の結果、血糖値や血圧値が高く受診の必要な区民に対し個別にアプローチし、生活習慣病の重症化を予防する働きかけを行った。

重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・区民や理美容組合員を対象に睡眠に関する講演会を実施し、睡眠の心身への影響と良質な睡眠をとるためのポイント等について啓発した。
- ・子育て支援機関や商業施設、警察と連携を図り啓発グッズを活用した心の健康づくりや相談窓口の案内等を行った。
- ・復興公営住宅のある地域の福祉団体や自治組織と連絡会を開催し、被災者が孤立しないコミュニティ支援として元年度は男性の集いを実施した。
- ・こころの健康相談を区役所で実施し、こころの健康についての本人及び家族からの相談、問題解決を支援した。
- ・精神障害者の家族教室を開催し、社会資源の活用方法及び家族での対応についての話し合いを支援した。

重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・児童館・児童センターや市民センターとの共催により、乳幼児や児童及びその保護者を対象に、体験型の食育講座を実施し、健康的な食習慣の形成について啓発した。
- ・地域の高齢者向け健康教育の場を利用し、フレイル予防を意識した食事の重要性について啓発した。
- ・母子保健事業・介護予防事業において、食品の栄養成分表示の活用について情報提供した。

重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・「☆せんだい☆でんたるノート」の活用を促し、乳幼児期からのフッ化物応用の啓発や、かかりつけ歯科医による歯と口の健康づくりを推進するとともに、保育所等でのフッ化物洗口を実施する働きかけを行った。
- ・健康づくり相談や地域健康教育等において、高齢期の口腔機能向上に係る情報提供を行った。

重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・小学生を対象とした防煙教育について、全児童館・児童センターに対し、3年間で一巡するよう計画的に実施した。また、子どもを通して親世代への受動喫煙防止に関する情報提供を行った。
- ・庁内の健康づくり情報コーナーや防煙教育において、三次喫煙等新たな情報を提供した。

重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・感染性胃腸炎やインフルエンザの流行期前に、社会福祉施設、幼稚園、保育所等の職員等を対象に研修会（手洗い、吐物処理実習等）を開催した。
- ・エイズ・HIV感染症等の予防対策として、大学、専門学校、のびすく泉中央等でのパネル及びポスター展示並びにパンフレット及び啓発グッズの配布等による啓発活動を実施した。

市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・商工会の事業所向け働き盛りの健康管理に関するポスターを作成し啓発を行った。
- ・むし歯予防環境の充実を目指し、保育所等でのフッ化物洗口の実施を働きかけた。

2. 今後の取り組みに向けた課題

- ・乳幼児期から青・壮年期世代までの健康づくり対策として、地区特性を踏まえ、子育て支援機関や教育機関、事業所等と連携した取り組みが必要である。
- ・郊外団地の高齢化対策として、健康づくりの視点を取り入れた地域づくりに向け、市民センターや地域包括支援センター等の関係部署との協働による取り組みが必要である。

3. 関係団体の取り組み（令和元年度 実績）

（一社）仙台市医師会		
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	特定健診、基礎健診における問診や健診結果に応じ、生活習慣病等の「疾患」、「メタボリックシンドローム」及び「特定保健指導」に関する判定を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定(身体活動量・食事バランス)し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、登録医療機関ならびに宮城総合支所（集団）において指導した。 宮城野区の有志グループで行う糖尿病教室に対して、支援を行った。 生活習慣病予防を図るべく、市民を対象にした「市民医学講座」の開催や広報誌「てとてとて」「健康だより」を発行した。また、ケーブルテレビを利用した医療情報番組「家庭の医学」を通じて啓発活動を行った。
	【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	かかりつけ医の適切なうつ病診療の知識・診断の向上及び、精神科専門医との連携などについて研修会を開催し、うつ病患者の早期発見・早期治療の促進や、自殺予防対策に努めた。同様に病院医療従事者向けの研修会も開催した。 産婦健康診査については、登録医療機関において産婦のこころとからだの健康状態をチェックし、心身の不調の早期発見に努め、必要な支援につなげた。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	（重点分野3・4合わせた形での取り組み） 学童検診（検尿、腎臓病、糖尿病、生活習慣病、貧血、心臓病、脊柱側弯、運動器等）を介して児童・生徒および家族に対し、校医および専門医による食生活・生活改善指導を実施した。 また、乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児健診、3歳児健診において乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施した。 乳児からのむし歯予防として8～9か月乳児健診を入り口にした、3歳児カリエスフリー85プロジェクトを歯科医師会と共に推進した。
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	禁煙日医宣言と禁煙キャンペーン事業を推進し、世界禁煙デー・宮城フォーラムに参画。禁煙タペストリーを制作・展示し、職場、妊婦、子どもに対する喫煙防止を呼びかけた。NPO法人禁煙みやぎの禁煙活動に対して積極的に支援した。
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	各種予防接種の積極的勧奨と、インフルエンザ予防対策ポスターを市内の医療機関へ送付し、こまめな手洗いや咳エチケットの予防対策を啓発した。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		
今後の取り組みに向けた課題等		

(一社) 仙台歯科医師会

重点分野に関する活動・事業等の実施状況

<p>【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病・骨粗鬆症・睡眠時無呼吸症候群と歯科などに関する医科歯科連携事業の実施 ・基礎疾患・生活習慣病と歯周病の関連性の啓発と予防・早期発見につながる歯科保健活動 ・特定健診・保健指導の歯科的項目の追加に対応した体制の整備 ・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携の充実 ・口腔がんの早期発見のための啓発講習会の実施
<p>【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止への歯科的対応 ・「生きる力を育む教育」を通じた「いじめ問題」に対する歯科的協力 ・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画 ・新オレンジプランにおける歯科専門職としての連携 ・認知症対応力向上に資する歯科専門職の育成 ・障害者地域支援ネットワーク構築事業への参画 (障害のある人もない人も暮らしやすい仙台を目指す条例)
<p>【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期から学齢期においては、食育推進が歯と口の機能の育成に大きくかかわることから3歳児カリエスフリー85プロジェクトの保健指導・学校での食育推進事業に歯科として積極的に関与する。 ・青年期・壮年期では仙台市成人歯科健診事業における保健指導で間食や甘味食品を含めた正しい食事に関する情報提供を行う。 ・高齢期に関しては、フレイルの出発点ともいわれている「オーラルフレイル」の予防という観点から食事の重要性を考えるべきである。それを踏まえ以下の事業を実施した。 ・多職種連携という観点から当該会議での情報発信 ・地域包括支援センター主催の市民啓発イベントでの講話実施
<p>【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔癌の早期発見のための啓発講習会の実施 ・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携 ・市委託事業 3歳児歯科健康診査・2歳6か月歯科健康診査 ・保育所定期歯科健康診査及び歯科健康教育 ・幼稚園における歯科保健活動 (園でのフッ化物洗口のさらなる推進に向けた取り組み) ・幼稚園・保育所職員対象研修会 ・小学校就学時健康診断・定期健康診断 ・学童期のう蝕予防対策の強化 (小中学校におけるフッ化物洗口の積極的導入と普及に向けた計画検討) ・フッ化物局所応用の推進～フッ化物応用実施医療機関名簿作成等 ・妊婦歯科健診事業の推進 ・3歳児カリエスフリー85プロジェクトの推進(予算化に向けての検討) ・各ライフステージにおける歯科口腔保健事業のシームレスな連携の実現 ・宮城・仙台口腔保健センターにて「歯の学校」「歯の大学」(宮歯と共催)を開催 ・宮城・仙台口腔保健センターにて「県民公開講座」を開催 ・「歯と健康を守る仙台市民の会」を組織し、市民向け講演会を開催 ・歯と口の健康週間行事 市民のつどい ・仙台歯科医師会ホームページに市民歯科啓発サービスの開設 ・情報提供～小冊子「スマイル」の発行 ・各種歯科健診結果データの会報誌を通じての情報提供 ・「仙台デンタルファミリーボランティアの会」による老健施設での口腔ケア啓発活動 ・仙台市成人歯科健診(30・40・50・60・70歳歯周病検診・20歳のデンタルケア)実施 ・仙台市成人歯科健診(歯周病検診・20歳のデンタルケア)の受診率向上および実施年齢の充実化 ・仙台市成人歯科健診(歯周病検診・20歳のデンタルケア)の未受診者対策の検討 ・仙台市成人歯科健診(20歳のデンタルケア)の未受診者対策の実施 ・仙台市職員共済組合歯科検診(35・45・55・60歳実施) ・事業所歯科健診における産業保健推進センターとの連携強化 ・事業所歯科健診(宮城県歯科医師会の要請) ・障害者施設訪問歯科健診と関係者協議会 ・特別支援学校における摂食指導 ・障害者歯科相談医の研修会と相談医制度の拡充 ・口腔機能向上のための研修と口腔機能検査の実施 ・老健施設訪問歯科健診の実施 ・口腔ケアセンターの活用と運営の軌道化 ・口腔ケアセンター事業としての市民啓発講演会の実施

(一社) 仙台歯科医師会 ※前頁より続き

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<p>【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養高齢者の口腔機能向上に向けた医科歯科連携推進 ・一般高齢者における介護予防事業（総合事業） ・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画 ・歯科医師の認知症対応力向上のための対策 ・地域包括ケアシステムにおける多職種連携の中での歯科専門職の役割の充実化 ・災害時における多職種連携のもと実施される口腔衛生活動体制の充実 ・食育推進への取り組み ・歯と口の健康月間における歯科保健活動（地区歯科医師との連携） ・仙台市PTAフェスティバルへの参加 ・認知症フェアなどの高齢者対象のイベントでの口腔機能低下・口腔ケアに関する啓発（仙台市薬剤師会との連携事業含む）
	<p>【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコと歯周病との関係啓発 ・禁煙対策関連会議への出席
	<p>【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策関連講習会への出席・情報収集 ・誤嚥性肺炎やインフルエンザの予防のための感染対策啓発
	<p>健康づくりを支える 社会環境の改善・整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台福祉プラザに「在宅地域歯科連携室」の設置と介護専門職・地域住民との連携環境の整備
	<p>今後の取り組みに向けた課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期いきいき市民健康プラン後期計画を考慮した事業計画の見直し ・仙台歯科医師会ホームページによる市民向け歯科啓発サービスの充足 ・各ライフステージにおける歯科口腔保健事業のシームレスな連携の実現 ・「かかりつけ歯科医」機能の充実化に向けた市民啓発活動 ・子育て世代・学齢期の歯と口の健康支援推進に向けての取り組みの検討 ・3歳児カリエスフリープロジェクト（フッ化物歯面塗布事業）実施に向けての検討と仕組みの構築 ・幼稚園：保育所におけるフッ化物洗口実施率向上のための対策の検討 ・学童期のう蝕予防対策の強化 （小中学校におけるフッ化物洗口の積極的導入と普及に向けた計画検討） ・妊婦歯科健診の推進 ・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の受診率向上 ・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の未受診者対策対象拡大の検討 ・特定健診・保健指導の歯科的項目の追加に対応した体制の整備 ・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画 ・新オレンジプランにおける歯科専門職としての連携 ・在宅地域歯科連携室を中心に据えた地域包括ケアシステムにおける歯科サービスの整備 ・障害者地域支援ネットワーク構築事業への参画 ・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携の充実 ・障害者（児）に対する歯科健康診査・保健指導導入の検討

(一社) 仙台市薬剤師会

<p>【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防</p>	<p>市民検診の受診勧奨：各薬局にて市民検診の受診を勧めるとともに、電子申し込みのお手伝いをした。 薬と健康相談会の開催：各地域での健康講話やお薬と健康相談会を開催した。市内35カ所で開催した。 市民講座の開催：6月22日（3月19日予定は新型コロナウイルスの関係で中止） 薬局において（分野5と関連して）、生活習慣病患者さん対象に、禁煙への啓発と相談を実施した。</p>
<p>【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり</p>	<p>「うつ対応薬剤師（仮称）」の育成：うつ病患者への早期対応（気付き）、関係機関との連携できる薬剤師の育成の為に研修講座を開設し、今年度は27名の薬剤師を育成した。また、薬剤師対象のゲートキーパー養成講座を開催した。各薬局では、不眠からの気付きを中心に取り組み、さらに強化月間を9月と3月に定め、声かけのチラシを各薬局で配布した。「うつ対応薬剤師」を仙台市薬剤師会では「ミミまる薬剤師」の名称を付けてミミまる（ウサギ）のキャラクターをデザインした。 認知症対応では、認知症対応薬剤師を「認知症パートナー薬剤師」として、一定の研修講座修了者に仙台市薬剤師会の認定証を発行し、育成に努めた。今年度は22名認定（合計70名）、また、各地域でのお薬と健康相談会ではこれらの薬剤師が、認知症チェックコーナー（相談）を担当し対応した。 仙台市が実施している「認知症の人の見守りネットワーク」への参加を、地域の薬局・薬剤師や薬局スタッフに呼びかけ、ネットワーク構築を推進した。また、仙台市と連携し機器を使った見守り体制（発見体制）の構築のモデル地区に取り組んだ。 薬剤師会主催の春の健康フェアでは、市民対象の認知症サポーター養成講座を開催した。また、会員薬剤師による寸劇を上演し、認知症への理解を広めた。</p>
<p>【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活</p>	<p>高齢者の食に関するアドバイスが出来る薬剤師の育成：高齢者のフレイルやサルコペニアの予防として、薬局及び健康相談会等でこれらにアドバイスが出来るように、一定にカリキュラム（栄養と運動）を策定し、仙台市薬剤師会の認定講座（研修会）を開催し育成し、58名の認定薬剤師を育成した。 各地域でのお薬と健康相談会では、簡易測定（骨密度等）を実施し、結果から食生活へのアドバイスを行った。</p>
<p>【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<p>仙台歯科医師会との連携で、口腔ケアに関する研修会を開催し、多くの疾患やとりわけ感染症との関連から口腔ケアの重要性を日常の薬局業務や在宅訪問時に啓発活動を行った。 歯科医師会との連携から、歯科医師会で行っているポスター等を各薬局で掲示し、啓発活動を行った。 「分野5」に関連し、歯周病等と禁煙啓発への連携体制の検討を行っている。 仙台市、仙台歯科医師会の主催する「歯と口の健康週間」に参加し、相談会を開いた。</p>
<p>【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進</p>	<p>「スカイブルーキャンペーン～きれいな空気を～」のキャッチコピーのもと、薬局、地域での受動喫煙防止・禁煙の啓発活動を展開した。各地域でのお薬と健康相談会では、禁煙相談コーナーを設置し、相談、アドバイス等を行った。 学校では児童、生徒を対象に「防煙教室」を開催し、未成年の喫煙防止に取り組んだ。 薬物乱用防止・防煙キャンペーンイベントを開催し、受動喫煙防止・禁煙、未成年者の喫煙防止など、啓発活動を実施した。また、各区の区民まつりでも、「スカイブルーキャンペーン～きれいな空気を～」のチラシ等を配布し、啓発活動を展開した。 仙台市、宮城県が募集している「受動喫煙防止宣言施設」に、各薬局が登録するよう呼びかけ、多くの薬局が登録している。</p>
<p>【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防</p>	<p>平時からの感染症初期予防対策として、感染症の初期予防や環境衛生への啓発活動を展開するために、「感染症初期予防対応薬剤師」の育成をおこなった。この講座は、東北医科薬科大学特任教授の賀来満夫先生のご指導のもと実施し、今年度は12名（合計52名）の仙台市薬剤師会認定の薬剤師を育成した。 各地域でのお薬と健康相談会や市民講座では、感染症（インフルエンザ予防）の講話と手洗い、マスク着用のアドバイスコーナーを設け、啓発活動を行った。学校では、「手洗い教室」を開き、インフルエンザ予防に取り組んだ。また、仙台市医師会、仙台歯科医師会との共催で、インフルエンザ予防に関するポスター、チラシを作成し、市内の学校、施設に配布し、啓発活動を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止については、R2年2月初旬から各薬局で感染症初期の声かけやチラシ配布による啓発活動を展開した。各学校にはポスターを作成し、配布、掲示をおこなった。 その他従来から行っている感染症予防の強化月間等においては、ポスター掲示等で啓発活動に協力した。</p>

重点分野に関する活動・事業等の実施状況

(一社) 仙台市薬剤師会 ※前頁より続き	
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	<p>会員薬局の薬剤師、スタッフが、仙台市が実施している「認知症の人の見守りネットワーク」への参加を推進している。</p> <p>上記に記載している通り、会員薬局の「受動喫煙防止宣言施設」への登録を推進している。</p> <p>ハートヘルス プラザ（地域密着型薬局）の展開拡大と宮城県が行っている「みやぎヘルスサテライトステーション」への参加を呼びかけた。その他、地域ケアシステム構築の為に各委員会等へも積極的に参加をした。</p>
今後の取り組みに向けた課題等	<p>ミミまる薬剤師、認知症パートナー薬剤師、感染症初期予防対応薬剤師、フレイル・サルコペニア予防対応薬剤師の育成。</p> <p>感染症初期予防対応では、地域や学校等での啓発活動の実践。</p> <p>コロナウイルス感染拡大においては、市民対象の感染症初期予防への啓発活動の展開。</p> <p>仙台市歯科医師との連携による口腔ケアの啓発活動への取り組み、及び、禁煙啓発への取り組み。</p> <p>認知症対応では、地域ケアシステムへの入り口として、「認知症の人の見守りネットワーク」への参加拡大。</p> <p>生活習慣病対応、受動喫煙防止では、受動喫煙防止・禁煙を勧めることで疾病予防、重症化予防を実践する。</p>

全国健康保険協会宮城支部

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者に対して生活習慣病予防健診の受診勧奨を実施：受診率58.23%（令和2年1月末時点） ・被扶養者に対して特定健診の受診勧奨を実施：受診率29.33%（令和2年2月末時点） ・健診結果からリスク保有者に対し特定保健指導の実施：受診率22.5%（令和2年2月末時点） ・健診結果から重症領域の高血圧・高血糖未治療者に対し医療機関受診勧奨（重症化予防）を実施：受診率10.5%（令和2年2月末時点） ・スポーツクラブ等と連携したヘルスアップ事業により運動習慣の推奨を図った：240名利用 ・宮城県が開発したウォーキングアプリと連携し、運動習慣の推奨や生活習慣の改善を図った。
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者個人向けカウンセリング事業の実施：21名利用 ・事業所向けメンタルヘルス出張セミナーの実施：7事業所利用
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導による食生活改善にかかる指導実施。 ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、食生活の改善に取り組む事業所を拡大：101事業所（累計802事業所）
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部広報誌にて宮城県歯科医師会所属の歯科医師より歯科関連の情報提供をいただき掲載：年6回発行 ・事業所向け「歯の健康に関する出前講座」の実施：4事業所、約165名参加 ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、歯の健康に取り組む事業所を拡大：6事業所（累計41事業所）
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県、仙台市、協会けんぽ宮城支部の3者で「受動喫煙防止宣言登録施設」を運用し、受動喫煙防止を推進：12事業所、20施設（累計268事業所、439施設） ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、喫煙対策に取り組む事業所を拡大：85事業所（累計657事業所）
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、感染症予防に取り組む事業所を拡大：50事業所（累計406事業所） ・ホームページ、メールマガジン等による定期的な広報を実施
	健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業の普及拡大、宣言事業所へのサポートにより、事業所における従業員の健康づくりに積極的に取り組む体制の整備を図った。
今後の取り組みに向けた課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・当支部は75万人（うち仙台市在住約26万人）の加入者を抱えており、一人ひとりに対する直接的なアプローチが困難であることから、「職場健康づくり宣言」事業を中心とした事業所との連携による取り組みを引き続き推進していきたい。 	

	(公社) 仙台市食品衛生協会	(公社) 宮城県看護協会
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	○市民対象に「まちの保健室」を開催し健康相談を通してセルフケアの普及を図る。 ・看護週間行事「看護のひろば2019」(会場：アエル) 277人 ・被災者健康支援「まちの保健室」(会場2ヶ所:宮城野区田子及び若林区荒井の商業施設内) ヤマザワ田子店4回98人、みやぎ生協荒井店4回118人 ・訪問看護総合センター、若林訪問看護ステーションを会場に開催 13回 138人 ・市内各会場で(介護予防月間行事-はればれ健康フェスタ・若林区民まつり・宮城野区民まつり・みやぎケアフェスタ・もの忘れフォーラム・いい日いい汗栄養まつり等) 5回 ○「認知症関連研修」(看護師対象)の開催 ・認知症ケアの質の向上を図り、認知症の人が安心して暮らせる体制づくりに寄与する。 ・認知症対応力向上研修(仙台地域) 2クール(3日×4回) 修了者 263人 ・一般向け広報紙「Kangoの広場」を発行し、生活習慣病予防啓発記事等を掲載 年2回
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	○メンタルヘルスマネジメント研修を行い看護職自身のこころの健康づくりと、看護職を通して市民への普及啓発を図る。 ・新人看護職対象メンタルヘルスマネジメント研修 2回 238人 ・アンガーマネジメント研修 1回114人 ○一般向け広報紙「Kangoの広場」を発行し、自殺予防やメンタルヘルスの記事等を掲載。年1回。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	・会員向け広報誌並びに一般向け広報誌で、禁煙についての啓発活動 ・世界禁煙デーにあわせ、館内に禁煙ポスターを掲示 ・禁煙みやぎ等の関係団体と禁煙フォーラムに参加 ・受動禁煙防止施設登録 敷地内・館内禁煙実施
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	・食品衛生法の趣旨に沿って、飲食に起因する感染症や食中毒予防の啓発活動を行った。 ・食品衛生法の改正を受け、飲食店営業施設等のHACCPの考え方に基づく衛生管理を推進した。 ・検便および食品検査に関する啓発活動、検査受付を行った。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		
今後の取り組みに向けた課題等		・新型コロナウイルス感染症の拡大防止をきっかけに、市民の標準的感染予防策が身についてきていると思われる。日常的な手洗い・うがい等の行動変容が、過度になりすぎずに、子供のころから、普通に身につけていくことを期待したい。

	宮城労働局	(公財)宮城県対がん協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場に対し、健康診断及び事後措置等の実施に関する指導等を実施した。 ・事業場に対し、二次健康診断給付制度の周知啓発を行った。 	<p>昨年同様に職員全員に協会けんぽの一般検診を受ける機会を用意しました。また自分負担部分を職場で負担することで受けやすい環境を整えました。精密検査の受診状況を調べ、受けていない職員には受診を促しました。</p>
	【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場に対し、ストレスチェックのほか、職場におけるメンタルヘルス対策の推進のための指導等を実施した。 ・宮城産業保健総合支援センター等が実施するメンタルヘルス関係支援サービスの周知等を行った。 	<p>産業医と連携し、職員のメンタルヘルス相談窓口を設けています。 また、メンタルヘルス健診も行っています。</p>
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活		<p>がん予防のためにも、塩分を控えて、野菜を食べるように職員に周知しています。</p>
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場に対し、化学物質等による健康障害防止対策による指導等を実施した。 	
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場に対し、受動喫煙防止対策に関する周知啓発を行った。 ・事業場に対し、受動喫煙防止対策助成金の周知を行い、助成金申請・給付手続きを実施した。 	<p>すでに職場内禁煙とし、職員には、勤務中禁煙として厳しく指導しています。</p>
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における感染症（ウイルス性肝炎、HIV、風しん等）に関する理解と取組の促進のためのガイドライン内容の周知を行った。 	<p>インフルエンザの予防接種を職場内で受ける機会を用意するなど積極的に取り組んでいます。また、感染症にかかった職員には、出勤をひかえるように教育しています。</p>
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革関連法により改正された労働基準法・労働安全衛生法等の周知を行った。 	<p>検診を受けることの大切さを幅広い方法で伝えています。 また、がんを予防するためにも、食生活や運動の大切さも合わせて伝えていくようにしています。</p>	
今後の取り組みに向けた課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革関連法により改正された労働基準法・労働安全衛生法等の更なる周知と過重労働による健康障害防止対策の推進。 ・治療と仕事の両立支援対策の周知。 	<p>他団体の取り組みを知る機会がありませんので、周知いただけると助かります。</p>	

	(公財) 宮城県結核予防会	(公社) 宮城県栄養士会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小の事業所を中心とした職域における定期健診の受診率向上の推進 ・ 肺がん検診の受診勧奨及び受託実施 ・ 特定保健指導等により身体活動等の生活習慣改善を推進 ・ 社会保険等の被扶養者の方々を対象に特定健診の受診勧奨及び受託実施 ・ 生活習慣病予防につながるオプション検査の推進 	糖尿病重症化予防・脂質異常症対策・健康・栄養講演会開催・災害地支援等各分野において活動しております。
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職域におけるストレスチェックの推進及び受託実施 ・ 長時間勤務労働者等の産業医による面接指導の実施 	宮城県栄養士会では特に南三陸町復興住宅等での健康相談会年間54回、まちなか保健室10回を、看護協会と合同で実施しました。 看護協会と一緒にメンタル問題にも関わってきました。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導等を通し、食生活の改善等の推進 	1日2回以上主食・主菜・副菜を揃えて食している家庭は少なく、糖質に偏っていたり、又逆に糖質を全く摂らない方も居る現状。流行りの糖質ダイエットも未だ残っています。 せめて1日2回は主食・主菜・副菜を揃える食事指導を進めています。 又、子どもから大人まで朝食を食べない方も未だに見受けられるので、朝食の大切さについてもあらゆる現場で推奨しています。
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診質問票により口腔衛生の必要性・重要性をアピール 	歯科医師会・歯科衛生士会の協力を頂き、毎年宮城県栄養士会主催の「いい日・いい汗栄養まつり」におけるブースに於いて、口腔ケアの重要性の理解を深めて、歯科衛生士による寸劇の実施で啓蒙しています。
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙による健康被害等のPRと肺がん検診の受診勧奨 ・ 禁煙外来の受診勧奨 ・ COPDに関する啓発資料の配布やセミナーの実施 ・ 情報掲載パンフレットの配布等による禁煙の推進 	各種現場に於いてのタバコの害についての健康教育の実施
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結核予防思想の普及啓発、複十字シール運動の実施 ・ 結核検診及びBCG接種の推進並びに受託実施 ・ 夜間HIV検査の受託実施 ・ 各種ワクチン接種等の受託実施 	正しい手洗いの施行、予防接種受診の声がけ実施
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		地域における健康料理講習会の実施、各公民館、老人福祉センター等に於ける他、料理講習会そして講演会を実施しています。	
今後の取り組みに向けた課題等		認定栄養ケアステーションが2箇所になるので、あらゆる健康教育のプランを示しながら、市民に啓発していきます。	

	(一財) 宮城県予防医学協会	仙台市レクリエーション協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診及び特定保健指導の実施 ・骨密度検査と結果に基づいた生活・食事指導、医療勧奨の実施 ・健診後保健指導（事後指導）、医療勧奨の実施 ・運動教室への講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで健康づくりに寄与するレクリエーション・スポーツ活動の啓発活動（仙台市民レクリエーションまつりの実施） ・高齢者の健康づくりに寄与するニュースポーツ活動の啓発活動を行う（仙台市高齢者生きがい健康祭におけるニュースポーツイベントの実施） ・「人生100年時代を健康に生きるフレイル予防と福祉レクリエーション」のテーマで健康セミナーを開催する。 ・一般市民等対象のニュースポーツ大会を実施する。
	【重点分野2】 気付く、つながる、支える心の健康づくり		
	【重点分野3】 健康な心と身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関するポピュレーションアプローチ及び講演会等の講師派遣 ・高校・大学の健康診断結果通知書の裏面に食事についての情報提供 ・リーフレット、健康情報の作成と配布 	
	【重点分野4】 生きる力を支える歯と口の健康づくり		
	【重点分野5】 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内及び営業車の禁煙実施 ・喫煙、禁煙に関するリーフレットの作成及び配布 ・禁煙に関する情報提供 	
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌による情報提供 	
	健康づくりを支える社会環境の改善・整備		
	今後の取り組みに向けた課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌、ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツや健康セミナー等、レクリエーションイベントをとおした健康づくり活動の更なる推進。